

アーツ前橋 年報No.05 2017年度（平成29年度）

目 次

2017年度 主な出来事	4
I 展覧会	5
I-1 2017年度展覧会一覧	5
I-2 展覧会の記録	6
(1) コレクション展 新収蔵作品を中心に	6
(2) コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ	8
(3) ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	11
(4) 彼女たちのまなざし：アーツ前橋所蔵作品から	17
(5) 横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から郷里赤城山の風景まで	18
(6) Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵	24
(7) 学芸員によるギャラリートツアー	26
II 地域アートプロジェクト	27
II-1 滞在制作事業	
(1) ケレン・ベンベニスティ（国外アーティスト）	27
(2) イルワン・アーメット&ティタ・サリナ（国外アーティスト）	28
(3) 衣真一郎（群馬県にゆかりのあるアーティスト）	29
(4) ダンスカンパニー としかたち（群馬県にゆかりのあるアーティスト）	30
II-2 駅家ノ木馬祭	32
II-3 表現の森 継続事業	
(1) 石坂亥士、山賀ざくろ×清水の会 えいめい	33
(2) 滝沢達史×アリスの広場	33
(3) 中島佑太×南橋団地	34
(4) 廣瀬智史、後藤朋美×のぞみの家	34
III ラーニング	
III-1 連携企画事業	
(1) ロビーライブ	36
III-2 あーつひろば	37
III-3 アーツナビゲーター	
(1) アーツナビゲーター研修	41
(2) おしゃべりアートウィーク／デイズ	42
(3) こどもアート探検	42
III-4 学校教育との連携	
(1) アーティスト・イン・スクール 住中浩史／山川冬樹／中島佑太	43
(2) 先生のための無料招待ウィーク	44
III-5 視察・見学	44
III-6 インターンシップ	45
III-7 サポーター活動記録	46
III-8 メンバーシップ	
(1) 会員数	47
(2) 会員対象事業	47
(3) 会報	47

IV	その他	48
IV-1	前橋めぶくフェス アート部門	48
	(1) 前橋めぶくフェス 6/25	48
	(2) 前橋めぶくフェス 11/3-11/5	49
IV-2	身体 of 芸術推進実行委員会	52
	(1) フィジカル・センセーション	52
	(2) 身体拡張2018 公園デビュー	52
IV-3	まちなか文化施設研究	56
V	所蔵資料	57
V-1	美術作品	57
	(1) 所蔵状況	57
	(2-1) 2017年度購入・寄贈作品	57
	(2-2) 2017年度所属替え作品	59
	(3) 収蔵作品貸出実績一覧	60
	(4) 修復	60
V-2	図書資料	60
VI	運営	61
VI-1	アーツ前橋条例	61
VI-2	アーツ前橋運営評議会	63
	(1) 委員	63
	(2) 開催記録	63
	(3) 設置要綱	63
VI-3	アーツ前橋収蔵美術品専門委員会	64
	(1) 委員	64
	(2) 開催記録	64
	(3) 設置要綱	65
VI-4	来館者数統計	66
VI-5	刊行物	67
VI-6	関連記事一覧	67
	(1) 新聞	67
	(2) 雑誌	68
	(3) ウェブ	69
	(4) テレビ・ラジオ	71
VI-7	職員名簿	71

【凡例】

- ・ 主要関連記事に関して、展覧会ページには主なものを2点掲載し、残りの情報は「関連記事一覧」にまとめて記載した。
- ・ 主要関連記事の全ての欄は掲載日時順で記録した。
- ・ 《》は、作品名を示す。〈〉は、シリーズおよびプロジェクト名を示す。
- ・ 肩書き、役職などは事業実施時点のものである。
- ・ 年号の表記は西暦で統一した。ただし、「VI運営」の1～3、7では和暦で統一した。

2017年度 主な出来事

- 5月30日 「加藤アキラ」展終了
- 6月15日 「コレクション展：新収蔵作品を中心に」展開催（～9月26日）
- 7月21日 「コレクション＋ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」開催（～9月26日）
- 8月24日 身体のアート推進実行委員会 発足
- 10月20日 「アーツ前橋×前橋文学館共同企画
ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」開催（～2018年1月16日）
- 11月 1日 アートによる文化交流推進実行委員会 発足
- 2月 2日 「身体拡張2018 公園デビュー」（主催：身体のアート推進実行委員会）開催（～2月18日）
- 2月 2日 「彼女たちのまなざし：アーツ前橋所蔵作品から」開催（～3月4日）
- 3月17日 「横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から郷里赤城山の風景まで」展、
「Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵」開催（～5月29日）
- 3月31日 アーツ前橋 研究紀要 第1号 発行

I 展覧会

I-1 2017年度展覧会一覧

1. コレクション展 新収蔵作品を中心に

2017年6月15日（木）－ 9月26日（火） ギャラリー1

アーツ前橋が開館以前から収蔵している作品や、2016年度の新収蔵作品を中心に紹介した。

入場者数／5,247人、展示作品／36点

2. コレクション＋ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ

2017年7月21日（金）－ 9月26日（火） ギャラリー2～6、プロムナード

所蔵作品に、近隣美術館や個人所蔵家の作品を＋（プラス）して、鑑賞をテーマに開催した。

入場者数／2,476人、展示作品／47点

3. ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所

2017年10月20日（金）－ 2018年1月16日（火） 全館

「ことば」をテーマに前橋文学館との初めての共同企画展を開催。文字と美術という異なる表現を通じて、人間と言葉の関係や言葉の始原的な役割を紹介した。

入場者数／7,774人、展示作品／78点

4. 彼女たちのまなざし：アーツ前橋所蔵作品から

2018年2月2日（金）－ 3月4日（日） ギャラリー1

所蔵作品の中から、群馬ゆかりの作家の絵画作品に描かれた女性の姿や、現代女性作家による作品を紹介した。

入場者数／2,606人、展示作品／16点

5. 横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から郷里赤城山の風景まで

2018年3月17日（土）－ 5月29日（火） ギャラリー2～6、プロムナード

本市ゆかりの洋画家・横堀角次郎の個展を開催した。草土社時代の初期作品から赤城山シリーズまでの画業を振り返った。

入場者数／3,649人、展示作品／190点

6. Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵

2018年3月17日（土）－ 5月29日（火） ギャラリー1

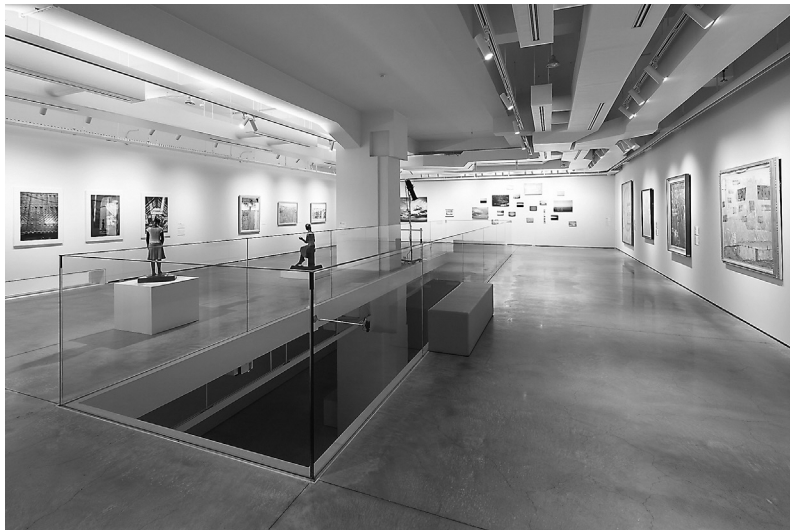
中堅作家を紹介する定例事業の5回目。自然を捉える表現をテーマに二人のアーティスト菊池敏正と馬場恵を紹介した。

入場者数／4,770人、展示作品／31点

I-2 展覧会の記録

(1) コレクション展 新収蔵作品を中心に

アーツ前橋が開館以前から収蔵している作品や、2016年度の新収蔵作品を中心に紹介した。2016年度は池田カオル、井田秋雄などの地域ゆかり作家や、館の活動に関して木暮伸也、廣瀬智央、田中青坪などを収蔵した。これら新収蔵作品のほか、アーツ前橋開館以前から収蔵している作家の作品を紹介した。



□会 期：2017年6月15日（木）－ 9月26日（火）（展覧会日数 90日）

□開館時間：11時から19時まで

□休 館 日：水曜日

□会 場：アーツ前橋 ギャラリー1

□観 覧 料：無料

□主 催：アーツ前橋

□出品点数：36点

□入場者数：5,247人

□印 刷 物：

①ポスター：A3判縦、1,000部

②出品目録：A4判横

□関連事業：

①こどもアート探検

日時：2017年6月25日（日）14時から14時30分まで

会場：アーツ前橋 ギャラリー1

参加人数：49人

②学芸員によるギャラリートーク

日時：2017年7月9日（日）14時から

会場：アーツ前橋 ギャラリー1

参加人数：7人

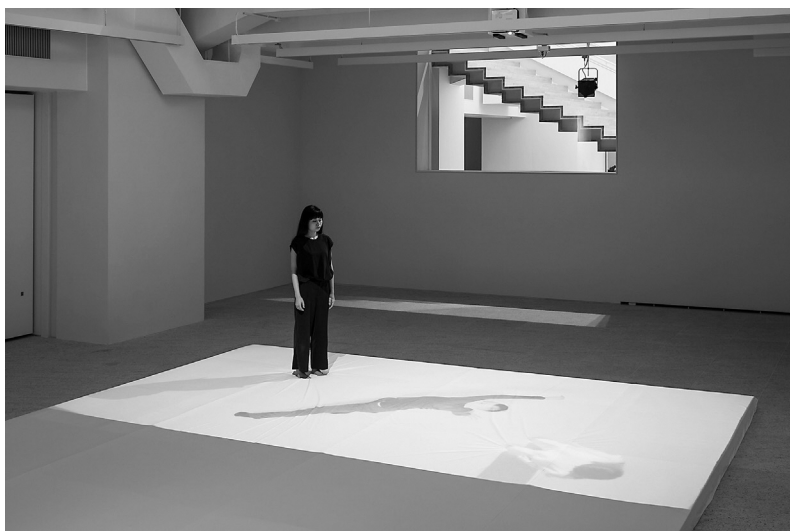
□担当：辻瑞生

【出品目録】コレクション展 新収蔵作品を中心に

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
1	久保繁造	白いうた	1983年	カンバス、油彩	91.0×73.0 cm	アーツ前橋
2	南城一夫	人形のある静物	1937年	カンバス、油彩	59.0×80.1 cm	アーツ前橋
3	清水刀根	青年期	1952年	カンバス、油彩	60.6×45.8 cm	アーツ前橋
4	深谷徹	農家(スペイン)	1966年	カンバス、油彩	121.4×136.4 cm	アーツ前橋
5	近藤嘉男	風	1974年	カンバス、油彩	112.6×162.1 cm	アーツ前橋
6	福田貂太郎	花燈舗店頭	1942年	カンバス、油彩	130.5×97.2 cm	アーツ前橋
7	武澤久	悠久の旅	2003年	カンバス、油彩	194.3×162.4 cm	アーツ前橋
8	田中恒	農相(青)	1973年	カンバス、油彩	116.7×91.0 cm	アーツ前橋
9	池田カオル	想い(一輪の花)	2007年	乾漆彫刻	110×48×60cm	アーツ前橋
10	池田カオル	あの日、鳥になれば	2013年	乾漆彫刻	63.5×41×35cm	アーツ前橋
11	池田カオル	記憶の中の今	2003年	乾漆彫刻	90×43×30cm	アーツ前橋
12	井田秋雄	対岸風景	1994年	カンバス、油彩	109×90cm	アーツ前橋
13	井田秋雄	かしぐね	2000年	カンバス、アクリル	82×109cm	アーツ前橋
14	井田秋雄	流浪 アフガンの空	2002年	カンバス、アクリル	81.5×109cm	アーツ前橋
15	井田秋雄	流浪 アフガンの夜	2002年	カンバス、アクリル	101×73cm	アーツ前橋
16	廣瀬智央	Viaggio, ヴィアッジョ	2001-2016年		20点組	アーツ前橋
16_1	廣瀬智央	Southchina Sea 2004	2004年	ラムダブリント、アルポリック、アクリル	49×74cm	アーツ前橋
16_2	廣瀬智央	Berlin 2004	2006年	ラムダブリント、アルポリック、アクリル	50×75cm	アーツ前橋
16_3	廣瀬智央	London 1991	2006年	ラムダブリント、アルポリック、アクリル	50×75cm	アーツ前橋
16_4	廣瀬智央	Milano 2002	2006年	ラムダブリント、アルポリック、アクリル	50×75cm	アーツ前橋
16_5	廣瀬智央	Bangkok 2004	2016年	ラムダブリント、アルポリック、アクリル	120×180cm	アーツ前橋
16_6	廣瀬智央	Milano 2001	2001年	ボラロイド	5×8cm 11枚1組	アーツ前橋
16_7	廣瀬智央	Atlantic 1999	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_8	廣瀬智央	Atlantic 1999	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_9	廣瀬智央	Bordeaux 1993	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_10	廣瀬智央	Hiroshima 2000	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_11	廣瀬智央	Hongkong 1993	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_12	廣瀬智央	Indian ocean 2002	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_13	廣瀬智央	Lisbon 1993	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_14	廣瀬智央	Mediterranean 2000	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_15	廣瀬智央	Milano 2003	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_16	廣瀬智央	Napoli 2002	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_17	廣瀬智央	Pacific 2001	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_18	廣瀬智央	Siena 1994	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_19	廣瀬智央	Swiss alps 2004	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
16_20	廣瀬智央	Maebashi 2013	2006年	カラープリント、アルポリック	20×30cm	アーツ前橋
17	水谷俊博	The scene - 此処にある景 -	2015年	インクジェットプリント	121×81cm 7点組	アーツ前橋

(2) コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ

アーツ前橋の収蔵作品に近隣の美術館や個人所蔵家から借用した作品をプラスして、鑑賞をテーマに展覧会を企画した。作品から受ける印象や感じ方は、自分の出自や過去の経験、記憶などが少なからず反映され、アートとの出会いは、私たちが自分自身を再発見する機会を与えてくれる。本展では「素材」「社会」「作家」「他者」「自分」との出会いという5つの章で構成し、さまざまな鑑賞体験を紹介した。



□会 期：2017年7月21日（金）－ 9月26日（火）（展覧会日数 59日）

□開館時間：11時から19時まで

□休 館 日：水曜日

□会 場：アーツ前橋

□観 覧 料：一般500円／学生・65歳以上・団体・その他割引300円／高校生以下無料

□主 催：アーツ前橋

□出品点数：47点

□入場者数：2,476人

□無 料 日：8月19日（土）夏休みキッズフェスタ2017

□割 引：トワイライト割引（17時以降に入館された方）／猛暑割（最高気温35度以上の猛暑日に入館された方）

□印 刷 物：

①チラシ：A4判、30,000部

②出品目録：A4判

③パネル：主催者あいさつ文B2判

④小冊子：A5判24頁、3,000部

内容

「展覧会を見る前に、鑑賞のポイントを5つ」

「鑑賞サポートツール《folks／フォークス》について」

「はじめに」

「素材と出会う」

「自分と出会う」

「社会と出会う」

「作家と出会う」

「他者と出会う」

企画・発行：アーツ前橋
 編集・執筆：辻瑞生、住友文彦、五十嵐純（アーツ前橋）
 デザイン：殿岡渉（あしか図案）
 印刷・製本：芝入印刷株式会社

□主要関連記事：

上毛新聞 2017.9.7 自分と出会う場に 5部構成で収蔵品展
 朝日ぐんま 2017.9.8 美術探訪「アートの秘密」アーツ前橋で9月26日まで

□関連事業：

- ①おしゃべりアートウィーク
 日時：2017年9月18日（月・祝）から9月24日（日）
 11時から12時まで、14時から15時まで
 会場：アーツ前橋 ギャラリー
 講師：アーツナビゲーター
 参加人数：のべ107人
- ②島地保武 パフォーマンス
 日時：2017年8月26日（土）13時から19時まで
 8月27日（日）11時から16時まで
 会場：アーツ前橋 ギャラリー
 出演：島地保武、辻本知彦（27日ゲスト）
 内容：映像作品を出品する舞踊家・島地保武が途中休憩をはさみながら、即興パフォーマンスを行った。
 参加人数：127人
- ③ワークショップ付きギャラリーツアー「六感ラボ／Six Sense Laboratory」
 日時：2017年8月11日（金・祝）14時から16時30分まで
 会場：アーツ前橋スタジオほか
 講師：山城大督（美術家・映像ディレクター）
 内容：普段の自分の感覚をより敏感にさせるワークショップを行ったあとに、展覧会を鑑賞した。
 参加人数：16人
- ④“ミュージアムの秘密”館内バックヤードツアー
 日時：2017年8月5日（土）、8月27日（日）14時から15時30分まで
 会場：アーツ前橋 バックヤード
 参加人数：のべ33人
- ⑤こどもアート探検
 日時：2017年8月19日（土）14時から15時
 参加人数：18人

□担当：辻瑞生、五十嵐純

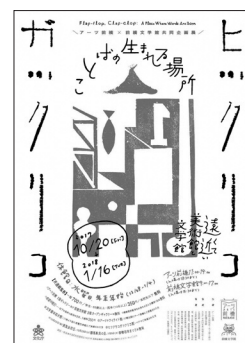
【出品目録】コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
1	高木仁三郎 文 片山健 絵	絵本「ぼくからみると」	1938年	スライドショー	可変	協力：のら書店
2	木暮伸也	景織 002	2011年	インクジェットプリント	81×121cm	アーツ前橋
3	木暮伸也	景織 _shimomasuda	2011年	インクジェットプリント	74.1×52.8cm	アーツ前橋
4	平尾峰春	沚	2009年	練上げ・陶	高さ26.5×口径32.2cm	作家蔵
5	平尾峰春	砂の記	2009年	練上げ・陶	9.5×35×38.5cm	作家蔵
6	伊藤三枝	お月さま	2001年	木彫木目込	22×25×17cm	アーツ前橋
7	伊藤三枝	憩う	2004年	木彫木目込	34×15×12cm	アーツ前橋
8	伊藤三枝	早春	2012年	木彫布貼	31×12×10cm	アーツ前橋

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
9	瑛九	馬車が行く		フォトグラム	29.8×24.7cm	新田安紀芳氏（アーツ前橋寄託）
10	瑛九	鳥たち		フォトグラム	40.2×50.3cm	新田安紀芳氏（アーツ前橋寄託）
11	瑛九	朝	1956年	紙、エッチング、ルーレット、ドライポイント	24.0×18.0cm	新田安紀芳氏（アーツ前橋寄託）
12	瑛九	指の物語	1954年	紙、エッチング、アクアチント	24.0×17.0cm	新田安紀芳氏（アーツ前橋寄託）
13	金井烏洲	米法山水図	江戸後期	絹本墨画淡彩・軸装	180×100cm	長谷川表具店
14	金井烏洲	雪景山水図	江戸後期	絹本墨画淡彩・軸装	138.5×50.5cm	長谷川表具店
15	金井烏洲	雪中山水図	江戸後期	絹本墨画淡彩・軸装	132.5×57.5cm	前橋市
16		金井烏洲印譜集				長谷川表具店
17	小室翠雲	前赤壁図	1915年	絹本墨画淡彩・軸装	174.5×86.5cm	アーツ前橋
18	小室翠雲	富士山頂図〔絶巔〕	1928年	絹本墨画淡彩・軸装	82.2×148.5cm	アーツ前橋
19	青柳琴僊	上毛十二景	1910年	絹本墨画淡彩・六曲一双	各173.0×375.0cm	アーツ前橋
20	中村節也	降下図（某国初期パラシューター）	1932～36年	カンバス、油彩	130.5×162.7cm	アーツ前橋
21	有村真鐵	明日	1992年	カンバス、油彩	149×228cm	アーツ前橋
22	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 I	1937年	紙、エッチング、シュガーアクアチント	31.3×42.2cm	大川美術館
23	パブロ・ピカソ	フランコの夢と嘘 II	1937年	紙、エッチング、シュガーアクアチント	31.3×42.2cm	大川美術館
24	照屋勇賢	自分にできることをする	2011年	新聞紙、針金	105×177.5×87.5cm	アーツ前橋 （未来の芽里巖プロジェクト寄贈）
25	池田カオル	あの日、鳥になれたら	2013年	乾漆彫刻	63.5×41×35cm	アーツ前橋（作家寄贈）
26	福沢一郎	蝶（習作）	1930年	カンバス、油彩	30×60cm	福沢一也氏（富岡市美術館・福沢一郎記念美術館寄託）
27	福沢一郎	海	1942年	カンバス、油彩	71×115.3cm	富岡市美術館・福沢一郎記念美術館
28	福沢一郎	世相群像	1946年	カンバス、油彩	130.3×162.1cm	富岡市美術館・福沢一郎記念美術館
29	福沢一郎	鳥の母子像	1957年	カンバス、油彩	116.5×91cm	富岡市美術館・福沢一郎記念美術館
30	福沢一郎	黒い幻想（I）	1959年	カンバス、油彩	116.7×91cm	富岡市美術館・福沢一郎記念美術館
31	福沢一郎	エヴァの誕生	1959年	板、石膏等	65.2×91cm	富岡市美術館・福沢一郎記念美術館
32	福沢一郎	ゴールへ（魚）	1965年	カンバス、油彩	193.9×259.1cm	富岡市美術館・福沢一郎記念美術館
33	福沢一郎	ヘラクレスと牛	1970年	カンバス、アクリル	181.8×227.3cm	夢遊人氏（富岡市美術館・福沢一郎記念美術館寄託）
34	三輪途道	普通のありよう 秀真	2009年	檜、漆、白土、彩色	80×38×23cm	アーツ前橋
35	三輪途道	普通のありよう 雅舞蔭	2010年	檜、漆、白土、彩色	80×39×31cm	アーツ前橋
36	長重之	ピックポケット 68	1968年	綿布、木、ロープ	232×185×20cm	個人蔵
37	長重之	点展 ビッグピックポケット'73／横浜 汲沢団地	1973年	映像（撮影：山田利男、長重之）		作家蔵
38	長重之	イベント'77－アタッチメント／足利、高崎各所	1977年	映像（撮影：山田利男、木野内啓二）		作家蔵
39	伊藤存	みえない土地の建築物／前橋	2013年	布、毛糸	115×85cm、76×55cm 115×80cm、145×85cm （4点1組）	アーツ前橋
40	金子英彦	EMPTY SACK CANNOT STAND ITSELF	1965年	カンバス、アクリル	162×130.3cm	アーツ前橋
41	金子英彦	ニッポン'64	1964年	カンバス、アクリル	162×130.3cm	アーツ前橋
42	金子英彦	退屈する人	1965年	カンバス、アクリル	162×130.3cm	アーツ前橋
43	白川昌生	想起の形	2004年	金具、合板、布、丸棒	170×361×286cm	アーツ前橋
44	白川昌生	DADADA	2014年	映像（撮影：藤井光）	4分56秒	作家蔵
45	島地保武	正午	2017年	映像、ビデオカメラ、ウレタンマット	118分	作家蔵 協力：資生堂ギャラリー
46	島地保武	震える影を床に落とす	2016年	シンバル		作家蔵
47		鑑賞サポーターズ《folks／フォークス》	2015-17年	ディレクション：山城大督／企画・監修：アーツ前橋／協力：群馬大学、アーツリサーチャー		

(3) ヒックリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所

前橋文学館との初めての共同企画展として「ことば」をテーマに書から現代作家までを紹介。文学と美術の表現を「ことば」という切り口から紹介することで、「ポスト真実」と呼ばれる危機の時代に直面する現代の言葉の在りかたや「震災以降」の言葉の変化について考えた。文字と美術という異なる表現を通じて、人間と言葉の関係や言葉の始原的な役割を紹介。企画展のコンセプトだけでなく、広報物やコンセプトブックも前橋文学館と共同で制作。また、市立図書館などとの連携、街なかの回遊性を高めるプログラムや作品制作を行った。子どもたちや高校生とのワークショップを通じてアーティストと作品制作を行うことで、ラーニングプログラムの拡充も行った。



- 会 期：2017年10月20日（金）－ 2018年1月16日（火）（展覧会日数 70日）
- 開館時間：11時から19時まで
- 休 館 日：水曜日
- 会 場：アーツ前橋、前橋文学館
- 観 覧 料：一般700円／学生・65歳以上・団体・その他割引350円／高校生以下無料
- 主 催：アーツ前橋、萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち 前橋文学館
- 助 成：文化庁 平成29年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
- 後 援：上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所
- 協 力：アートラボはしもと、うらわ美術館
- 出品点数：78点（アーツ前橋）、163点（前橋文学館）
- 入場者数：7,774人
- 無 料 日：2017年10月20日（金）「展覧会初日」、10月28日（土）「群馬県民の日」、2018年1月9日（火）「前橋初市まつり」
- 割 引：アーツワイルight割（17時以降のアーツ前橋への入館）、文学館早起き割（11時より前の前橋文学館への入館）、ヒックリコ ガツクリコ割（ペアでの入館）
- 印 刷 物：
 - ①ポスター：B2判、2,000部／A3判、1,000部
 - ②チラシ：A3判厚口、80,000部
 - ③セルフガイド：A3判、5,000部
 - ④パネル：主催者あいさつ、各セクション解説
 - ⑤荒井良二をめぐる旅マップ A5変形判、5000部
 - ⑥図録：日本語／英語、A5変形判、240頁、1600部

内容
萩原朔太郎未発表詩篇

はじめに 住友文彦

第一章：線という言葉

〈対談〉石川九楊×鈴木ヒラク 文字の起源

鈴木ヒラク 大澤雅休 大澤竹胎 横堀艸風 浦上秀樹

〈テキスト〉栗本高行 線と文字がかたどる思想—ドローイング・前衛書・オノマトペ

第二章：危機の時代のことば

〈テキスト〉平川克美 嘘と真実あるいは、絵画の次元について

イタリア未来派 ダダイズム クルト・シュヴィッターズ ジョージ・マチューナス

ベン・ヴォーティエ 塩見允枝子 ジョン・ケージ 河原温 河口龍夫 山川冬樹

〈テキスト〉河口龍夫 失語の詩によせて

〈テキスト〉今井朋 「ことば」における身体的記憶をもとめて

第三章：私・記憶・空間

〈テキスト〉瀬戸夏子 短歌、有限性、そしてそれゆえの可能性

荒井良二 オノ・ヨーコ ミヤギフトシ

〈エッセイ〉ミヤギフトシ 海辺の記憶

〈対談〉温又柔×王舟 多言語の音と風景

第四章：意味からの解放

〈テキスト〉山本浩貴+h 生（活）の配置、〈調べ〉の気づき 必然の混雑なる場
をもたらす詩の形式について

〈テキスト〉建畠哲 視覚詩はジャンルたりうるか

萩原恭次郎 新国誠一 北園克衛 足立智美 福田尚代 TOLTA ni_ka oblaat

Maniackers Design

第五章：ことばの生まれる場所へ

〈詩〉文月悠光 鶴舞う形 絹の橋

文月悠光 山村暮鳥 萩原朔太郎 東宮七男 草野心平 ムットー二 白石慶子

〈テキスト〉谷川渥 「表現」をめぐる断章

コンセプトブックのビジュアルテーマ 大原大次郎

おわりに 萩原朔美

展覧会概要

謝辞

企画・監修 アーツ前橋、萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館

編集 今井朋+忠あゆみ+福西みゆき+檜山真有（アーツ前橋）、小林教人（前橋文学館）

執筆 石川九楊、今井朋、王舟、温又柔、河口龍夫、栗本高行、鈴木ヒラク、住友文彦、瀬戸夏子、建畠哲、谷川渥、萩原朔美、平川克美、文月悠光、ミヤギフトシ、山本浩貴+h

装幀 大原大次郎

制作 小柳学+脇山妙子（左右社）

発行所 株式会社 左右社

翻訳 Art Translators Collective（相磯展子+川田康正+ Alex Dudok de Wit + Benjamin Cagan）

印刷・製本 日経印刷株式会社

□主要関連記事：

読売新聞 2017. 12. 2 言霊 美術と文学で迫る

東京新聞 2017. 12. 19 絵と言葉美の共存

□関連事業：

①TOLTA×アーツ前橋×市立前橋高校 ワークショップ

日時：1日目 2017年8月17日（木）9時30分から12時30分まで

2日目 2017年8月18日（金）9時30分から12時30分まで

3日目 2017年8月19日（土）9時30分から12時30分まで

会場：アーツ前橋 スタジオ、アーツ前橋 2階会議室

講師：TOLTA

内容：河野聡子、佐次田哲、関口文子、山田亮太の4名からなるヴァーバル・アート・ユニット、TOLTAのメンバーが「書く」「話す」「記録する」をテーマとした3

- 日間のワークショップを市立前橋高校の生徒とともに開催。ワークショップの間に録音された音声や成果が展示作品の一部となった。
- 参加人数：16人
- ②三館共同企画 荒井良二と作る展覧会！
- 日時：1日目 2017年9月30日（土）11時から16時まで
2日目 2017年10月1日（日）11時から16時まで
- 会場：アーツ前橋 1Fギャラリー、スタジオ
- 講師：荒井良二
- 内容：前橋市立図書館、前橋文学館、アーツ前橋の三館共同企画としてワークショップを開催。荒井良二と一緒に作品を制作し、本展会期中にアーツ前橋と前橋文学館にて展示。
- 参加人数：44人（1日目）、45人（2日目）
- ③ヒツクリコ ガツクリコ トーク
- 日時：2017年10月21日（土）第1部 14時30分から16時まで／第2部 16時30分から18時まで
- 会場：前橋文学館 3階ホール
- 登壇：第1部 平川克美（文筆家、思想家）、文月悠光（本展参加作家、詩人）、萩原朔美（前橋文学館館長）
第2部 名児耶明（五島美術館副館長）、鈴木ヒラク（本展参加作家）、住友文彦（アーツ前橋館長）
- 内容：なぜ今「ことば」について考えるのか。現代における言葉の問題について、展覧会参加作家や文学／言葉の専門家を招いたトークイベントを開催。
- 参加人数：63人（第1部）、36人（第2部）
- ④今日の原稿用紙-TOLTAによるツアー型ワークショップー
- 日時：2017年10月22日（日）14時から
- 会場：アーツ前橋 1階総合案内、会議室、ギャラリー、スタジオ
- 講師：TOLTA
- 内容：ガイドにそって前橋の街を歩き、その体験をもとに一篇の詩を作った。
- 参加人数：14人
- ⑤ムットーニ からくりミニシアター 上演とトーク
- 日時：2017年11月4日（土）14時から
- 会場：前橋文学館 3階ホール
- 出演：ムットーニ（武藤政彦）
- 参加人数：85人
- ⑥三角みづ紀 詩のワークショップ
- 日時：2017年11月11日（土）14時から
- 会場：前橋文学館 4階研修室
- 講師：三角みづ紀（詩人、第22回萩原朔太郎賞受賞）
- 参加人数：20人
- ⑦山川冬樹 パフォーマンス
- 日時：2017年12月2日（土）14時から17時30分まで
- 会場：アーツ前橋 地下ギャラリー
- 出演・登壇：山川冬樹、今井朋（アーツ前橋学芸員）
- 内容：前半部14時から15時30分には本展参加作家の山川冬樹のホームページなどのパフォーマンスを開催。後半部16時から17時30分には山川冬樹と今井朋による本展出品の新作に関する制作裏話などに関する対談を開催した。
- 参加人数：87人（パフォーマンス）、55人（対談）
- ⑧かくとはなす
- 日時：2017年12月9日（土）14時から16時15分まで
- 会場：アーツ前橋 地下ギャラリー（パフォーマンス）、スタジオ（対談）
- 出演・登壇：今福龍太（文化人類学者）、鈴木ヒラク
- 内容：14時から14時30分には鈴木ヒラクの作品展示室でのドローイングパフォーマンス。14時45分から16時15分には、今福龍太と鈴木ヒラクの「かく」ことの始原的

な意味を考える対談を開催した。

参加人数：75人（パフォーマンス）、65人（対談）

⑨学芸員によるギャラリートour

日時：2017年11月18日（土）15時から、12月10日（日）13時30分から、2018年1月13日（土）15時から

会場：アーツ前橋 ギャラリー

参加人数：のべ36人

⑩こどもアート探検

日時：2017年11月26日（日）14時から

会場：アーツ前橋 ギャラリー

参加人数：24人

⑪千代田通りフラッグプロジェクト

アーツ前橋と前橋文学館をつなぐ約400mの千代田通りを中心に、参加作家の Maniackers Designがデザインしたオリジナルのフラッグを掲出。

⑫前橋ことばの学校 詩のまちから言葉のまちへ

アーツ前橋の開館前に行われたプレイベント・アートスクールBコースの受講生を母体に2011年8月に発足した芽部がトークイベント、読み聞かせ、ワークショップ、詩作講座、演奏会、オープンマイク等さまざまな言葉にまつわるイベントを開催。詳細は下記リストに記載。

⑬TOLTAの「質問があります」

「質問があります」は、15の質問とその答えからなる作品で、質問は前橋のまちなかの各所に掲げられた。アーツ前橋に置いてある地図を持って前橋のまちなかにある質問を探し、質問への回答を記入して「答えをください」と書かれたボックスに投函。寄せられた回答は、後日作品の一部としてアーツ前橋で展示された。

□担当：今井朋、忠あゆみ（アーツ前橋）、小林教人（前橋文学館）

ヒックリコ ガクツリコ展 関連イベント（前橋ことばの学校）

日付	曜日	時間	イベント名	主催者	場所	参加人数
2017/11/12	日	13:00～15:00	前橋ことばの学校 田中庸介ワークショップ『数字短歌』	田中庸介	アーツ前橋 スタジオ	9
2017/11/12	日	15:30～16:45	コエヌマカズユキトークイベント	コエヌマカズユキ	前橋文学館1階視聴覚室	20
2017/11/19	日	17:00～18:30	ビート詩ライブ『疾走する、まち』	ヤリタミサコ、鈴木伸一、大井悠平、新井隆人	前橋まちなか音楽館	10
2017/11/19	日	13:30～14:30	ヤリタミサコ講演『音と目で楽しむ詩—北園、新国、昭八郎をめぐる—』	ヤリタミサコ	前橋文学館1階視聴覚室	10
2017/11/23	木	14:30～15:30	ドロップスのとことん荒井良二おはなし会	ドロップス+kuku	アーツ前橋 ギャラリー	45
2017/11/23	木	13:00～14:00	離れ座敷で朗読体験	——	朔太郎記念館離れ座敷	5
2017/12/3	日	13:00～16:00	詩のオープンマイク in 前橋文学館	——	前橋文学館3階ホール	19
2017/12/3	日	16:00～16:30	内藤奈美パフォーマンス Poetry Circus ～詩と身体～『夜のこえ、ことばの身体』	内藤奈美	前橋文学館3階ホール	21
2017/12/16	土	14:30～16:00	TOLTA＜質問があります＞街なかツアー	TOLTA	館外	7
2017/12/16	土	13:00～14:00	河野聡子朗読会『地上で起きた出来事はぜんぶここからみている』	河野聡子	アーツ前橋 ギャラリー	20
2017/12/17	日	14:00～15:00	ドロップスのクリスマスのおはなし会	ドロップス+kuku	前橋文学館1階視聴覚室	11
2017/12/17	日	13:00～16:00	リーディングシアター vol.4『夜汽車の人』—萩原朔太郎の愛と生涯—	——	前橋文学館3階ホール	—
2017/12/23	土	14:00～16:00	前橋いろはワークショップ	新井隆人	街なか	4
2017/12/24	日	15:00～17:00	荒井良二と過ごすクリスマス会	荒井良二、内藤奈美、kuku、ドロップス（田子、長井、國崎、牧）、お話し会もここ（持田）	シネマまえばし	99
2018/1/6	土	13:00～14:30	新井隆人・ことばのワークショップ	新井隆人	アーツ前橋 スタジオ	15
2018/1/14	日	15:30～16:30	エリック・サティの詩とピアノ曲 朗読と演奏会	佐藤睦美・新井隆人	前橋文学館3階ホール	58
2018/1/14	日	13:00～15:00	北爪満喜・詩の教室『詩を書く、詩を読み解く』	北爪満喜	前橋文学館3階ホール	17
2017/11/20～ 2018/1/16	—	—	雨月衣作品展『猫街、音娘町、寝子町』	雨月衣	前橋文学館1階ホール	—

【出品目録】 ヒックリコ・ガツクリコ ことばの生まれる場所（アーツ前橋展示作品を掲載）

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
1	荒井良二と32人の子どもたち	オノマトペッコ	2017年	ミクストメディア	サイズ可変	協力: 小野田賢三
2	荒井良二	げんしくん	2014年	FRP、木		東北芸術工科大学
3		荒井良二と作る展覧会!	2017年	映像	6分30秒	撮影・編集: 岡安賢一
4	萩原朔太郎	憔悴せるひとのあるく路/夕焼けの路 前橋市民に捧ぐる詩—プロテヤ氏近況		デジタルシート出力		
5	フランチェスコ・カンジュッロ	カフェコンチェルト 驚愕のアルファベット	1919年		24.9×17.4×0.4cm	うらわ美術館
6	フィリップ・T.マリネッティ	未来派の自由態の言葉	1919年	フォトリトグラフ	19.4×12.8×0.8cm	うらわ美術館
7	クルト・シュヴィッターズ	カテドラル	1920年	リトグラフ、コラーージュ	22.4×14.5×0.4cm	うらわ美術館
8	フランシス・ピカビア、 ジャン（ハンス）・アルプ、トリスタン・ ツァラ、ハンス・リヒター、 ラウール・ハウスマン、 ヴィンセント・エッゲリング他	アンソロジー・ダダ ダダNo.4-5	1919年	木版、リトグラフ	28.1×19.1×0.3cm	うらわ美術館
9	トゥッリオ・ダルビゾラ	未来派の自由態の言葉 触覚的、熱的、嗅覚的	1934年	金属、リトグラフ	24.4×23.8×2.2cm	うらわ美術館
10	ジョン・ケージ	ジョン・ケージの25周年記念演奏会	1959年	楽譜、レコード、冊子	31.8×31.7×1.7cm	うらわ美術館
11	ジョージ・マチューナス	フルクサスとその他の4次元芸術、聴覚、 視覚、嗅覚、表皮覚、触覚芸術の歴史的 展開を示すダイアグラム	1981年		119.8×44.6×0.1cm	うらわ美術館
12	河原温	I Am Still Alive	1978年		22.0×24.5×4.3cm	うらわ美術館
13	ベン・ヴォーティエ	Ben Dieu Art Total Sa Revue (ベン・デュー・アール・トータル・ サルビュ)	1962-63/ 62-65年	レコード、鏡、地図、植物、 ポストカード他を貼付した冊子	31.3×21.8×1.6cm	うらわ美術館
14	塩見允枝子	Spatial Poem No.1-No.9 Invitation Letters	1965-75年		24.5×18.7cm	うらわ美術館
15	塩見允枝子	Spatial Poem	1965-75年		21.2×27.3×0.7cm	うらわ美術館
16	塩見允枝子	Spatial Poem No.1	1980年[再制作]		30.1×45.7×2.2cm	うらわ美術館
17	塩見允枝子	Spatial Poem No.2	1966年	オフセット・リトグラフ、折り畳みの シート(赤)(白)	35.7×82.8, 36.7×82.2cm	うらわ美術館
18	塩見允枝子	Spatial Poem No.3	1972年	シート148枚、草装、ビス3点	17.0×13.3×3.3cm	うらわ美術館
19	塩見允枝子	Spatial Poem No.4	1972または73年	プラスチック・ケース、マイクロ・フィルム、 フィルム・ヴァーナー、ラベル	7.0×6.6×5.1cm	うらわ美術館
20	オノ・ヨーコ	ARISING	2013年	テキスト、映像、サウンド、声、服、机、 椅子、筆記具など	サイズ可変	作家蔵 協力 ギャラリー360°
21	鈴木ヒラク	Constellation #01	2016年	紙、シルバーインク、墨汁	139.5×139.5cm	前澤友作氏
22	鈴木ヒラク	Constellation #02	2016年	紙、シルバーインク、墨汁	139.5×139.5cm	個人蔵
23	鈴木ヒラク	Constellation #03	2016年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	林昭利氏
24	鈴木ヒラク	Constellation #04	2016年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	林昭利氏
25	鈴木ヒラク	Constellation #05	2016年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	林昭利氏
26	鈴木ヒラク	Constellation #06	2016年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	個人蔵
27	鈴木ヒラク	Constellation #07	2016年	紙、シルバーインク、墨汁	101.5×139.5cm	高橋コレクション
28	鈴木ヒラク	Constellation #08	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
29	鈴木ヒラク	Constellation #09	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
30	鈴木ヒラク	Constellation #10	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
31	鈴木ヒラク	Constellation #11	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
32	鈴木ヒラク	Constellation #12	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
33	鈴木ヒラク	Constellation #13	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
34	鈴木ヒラク	Constellation #14	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
35	鈴木ヒラク	Constellation #15	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	99.5×69.5cm	作家蔵
36	鈴木ヒラク	Constellation #16	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	139.5×101.5cm	作家蔵
37	鈴木ヒラク	Constellation #17	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	139.5×210.0cm	作家蔵
38	鈴木ヒラク	Constellation #18	2017年	紙、シルバーインク、墨汁	139.5×139.5cm	作家蔵
39	鈴木ヒラク	Constellation #19	2017年	キャンバス、シルバーインク、土、 アクリル、墨汁	270.0×1100.0cm	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
40	鈴木ヒラク	GENGA #001-#1000	2010年	シングルチャンネルビデオ		作家蔵
41	鈴木ヒラク	Archetype of City #01	2017年	反射板、木、アクリル		作家蔵
42	大澤雅休	ヨロヒド	制作年不詳	紙本墨書	79.9×85.0cm	佐久市立天来記念館
43	大澤雅休	やややややややぶはっ	1951年	紙本墨書	17.0×44.0cm	高橋朋艸氏
44	大澤雅休	があんびやん	1951年頃	紙本墨書	18.5×20.2cm	高橋朋艸氏
45	大澤雅休	華下草上	制作年不詳	紙本墨書	142.0×33.5cm	高橋朋艸氏
46	大澤竹胎	いにしへにありけむ人の	制作年不詳	紙本墨書	13.0×22.1cm	高橋朋艸氏
47	大澤竹胎	いにしへにありけむ人の	制作年不詳	紙本墨書	15.0×38.2cm	高橋朋艸氏
48	大澤雅休	ささのはゝ	1950年頃	紙本墨書	88.9×93.2cm	高橋朋艸氏
49	大澤雅休	虚空無邊	1951年頃	紙本墨書	132.8×65.1cm(一扇)	高橋朋艸氏
50	大澤竹胎	蛙「ぎやわろっ」	1949年以降	紙本板画	69.0×40.8cm	大澤仁氏
51	大澤竹胎	しゅうう	制作年不詳	紙本墨書 二幅	(各)132.5×64.5cm	大澤仁氏
52	大澤竹胎	蛙の合唱	1949年以降	紙本板画	42.5×69.5cm	大澤仁氏
53	大澤竹胎	子	1953年	木彫	29.0cm(高)	五島美術館
54	大澤竹胎	屯	1953年	木彫	30.5cm(高)	五島美術館
55	大澤竹胎	糸	1953年	木彫	33.0cm(高)	五島美術館
56	横堀艸風	舞	1978年	紙、墨	44.5×33.0cm	アーツ前橋
57	横堀艸風	象	1981年	紙、墨	98.0×45.5cm	アーツ前橋
58	横堀艸風	幻(B)	1983年	紙、墨	137.4×68.6cm	アーツ前橋
59	ミヤギフトシ	The Ocean View Resort	2013年	シングルチャンネルビデオ、カラー、サウンド	19分25秒	作家蔵
60	ミヤギフトシ	Broken Sandglass	2013年	砂時計、グリッター	サイズ可変	作家蔵
61	ミヤギフトシ	Banner from The Teahouse of the August Moon	2013年	布、糸、コーヒー / フルーツの染み	81.0×130.0cm	作家蔵
62	ミヤギフトシ	AWOL	2007/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
63	ミヤギフトシ	Snow Angel	2007/2017年	ラムダプリント	33.8×22.5×2cm	作家蔵
64	ミヤギフトシ	Back Street, Trees	2011/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
65	ミヤギフトシ	The Lamp	2011/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
66	ミヤギフトシ	Man on the Beach	2011/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
67	ミヤギフトシ	The Drive	2015/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
68	ミヤギフトシ	The North Shore	2015/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
69	ミヤギフトシ	Posters for American Boyfriend: Bodies of Water	2014年	オフセット	84.1×59.4×2cm 2枚	作家蔵
70	ミヤギフトシ	Y	2013/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
71	ミヤギフトシ	Breakfast for Two	2013/2017年	ラムダプリント	33.8×50.8+33.8×22.5cm	作家蔵
72	ミヤギフトシ	American Boyfriend: Printed Ephemera	2013-2014年	オフセット	サイズ可変	作家蔵
73	ミヤギフトシ	Poster for American Boyfriend: The Ocean View Resort	2013年	オフセット	84.1×59.4cm	作家蔵
74	山川冬樹	ハロー:グッバイ 伝達のテクネ	2017年	壁、振動ユニット、遺書、ボイジャー模型、55ヶ国語による挨拶の音声、ホワイトノイズ、ビデオ、スライド写真、プリント写真ほか	サイズ可変	作家蔵
75	河口龍夫	失語の祈り 3.17	2011年	紙、新聞紙、ジェッソ	60.6×45.5cm	いわき市立美術館
76	河口龍夫	DARK BOX 2011	2011年	鉄、闇、闇への鉛の封書	37.0×60.0×35.0cm	いわき市立美術館
77	河口龍夫	失語の詩	2017年	原稿用紙 100 枚、鉛筆、水彩	25.8×36.1cm	作家蔵
78	TOLTA	質問があります	2017年		サイズ可変	作家蔵

(4) 彼女たちのまなざし：アーツ前橋所蔵作品から

所蔵作品の中から、群馬ゆかりの作家の絵画作品に描かれた女性の姿や、現代女性作家による作品を紹介する展覧会。「女性たちの記録」「裸の女性たち」「見る・見られる女性たち」「現代女性作家たちのまなざし」の4つのセクションで、中村節也、塩原友子、寺村サチコなどの作品全16点を展示した。



□会 期：2018年2月2日（金）－ 3月4日（日）（展覧会日数 27日）

□開館時間：11時から19時まで

□休 館 日：水曜日

□会 場：アーツ前橋 ギャラリー1

□観 覧 料：無料

□主 催：アーツ前橋

□出品点数：16点

□入場者数：2,606人

□印 刷 物：

①ポスター：A3縦、1,000部

②出品目録：A4判横

□主要関連記事：

読売新聞 2018.2.26 「女性」テーマに企画展 アーツ前橋油絵や立体作品16点

朝日ぐんま 2018.3.2 洋画、日本画、立体…女性群&群馬ゆかりの女性作家の作品
16点 アーツ前橋で4日まで

□関連事業：

①こどもアート探検

日時：2018年2月24日（土）14時から14時30分まで

参加人数：22人

②学芸員によるギャラリートーク

日時：2018年2月25日（日）、3月3日（土）14時から14時30分まで

会場：アーツ前橋 ギャラリー1

参加人数：のべ13人

□担当：忠あゆみ

【出品目録】彼女たちのまなざし：アーツ前橋所蔵作品から

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
1	清水刀根	エプロン婦人像	1934年	カンバス、油彩	116.9×91.3cm	アーツ前橋
2	南城一夫	寝女	1935年	板、油彩	15.10×24.7cm	アーツ前橋
3	中村節也	婦人像(支那服)	1952年	カンバス、油彩	53.3×72.6cm	アーツ前橋
4	田中青坪	バレリーナ	1950年	紙本彩色	130.5×124cm	アーツ前橋
5	田中青坪	S婦人	1959年	紙本彩色	161.2×111cm	アーツ前橋
6	中村節也	私は見ている	1954年	カンバス、油彩	90.7×65.2cm	アーツ前橋
7	中村節也	寝台の女	1929年	カンバス、油彩	130.3×193.5cm	アーツ前橋
8	清水刀根	寝台に横たわる裸婦	1930年	カンバス、油彩	112.0×145.5cm	アーツ前橋
9	中村節也	画室	1932年	カンバス、油彩	170×219cm	アーツ前橋
10	清水刀根	撮影(前橋公園)	1933年	カンバス、油彩	146×112cm	アーツ前橋
11	近藤嘉男	港のマリア	1950年	カンバス、油彩	130.5×162.2cm	アーツ前橋
12	塩原友子	母岩	1968年	パネル、墨、彩色、紙、樹脂	180×180cm	アーツ前橋
13	寺村サチコ	(1/2) ²	2010年	シルクオーガンジー	サイズ可変	アーツ前橋
14	三輪途道	小声で話す	2011年	檜、漆、彩色	60×17×40cm	アーツ前橋
15	三輪途道	路傍の人	2011年	檜、漆、彩色	40×60×62cm	アーツ前橋
16	木原千春	人物	2009年	カンバス、油彩	116.7×91cm	アーツ前橋

(5) 横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から郷里赤城山の風景まで

2017年に生誕120年を迎え、2018年が没後40年の節目の年となる、群馬県勢多郡大胡町（現前橋市）生まれの画家・横堀角次郎の個展。横堀は、椿貞雄と出会い、岸田劉生を訪ねたことで画家としての人生を歩みはじめ、創立メンバーとして草土社展に参加し、春陽会展には第1回から亡くなる年の第55回展まで出品を続けた。本展では、岸田の影響を強く受けた草土社時代の作品から、繰り返し描いた赤城山や東大三四郎池シリーズまで、110点で画業を振り返った。あわせて横堀とともに歩んだ21名の仲間たちの作品を交えながら、横堀の画家としての位置を探ろうとした。



- 会 期：2018年3月17日（土）－ 5月29日（火）（展覧会日数 64日）
- 開館時間：11時から19時まで
- 休 館 日：水曜日（3月21日は開館、翌日休館）
- 会 場：アーツ前橋
- 観 覧 料：一般500円／学生・65歳以上・団体・その他割引300円／高校生以下無料
- 主 催：アーツ前橋

□後援：上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA、まえばしCITYエフエム、前橋商工会議所

□出品点数：190点

□入場者数：3,649人

□無料日：4月15日（日）前橋中心商店街ツナガリズム祭り

□割引：トワイライト割引（17時以降に入館された方）

□印刷物：

①ポスター：B2判、1,500部

②チラシ：A4判、40,000部

③パネル：主催者あいさつ、章説明

④図録：A5判192頁、1,200部

ごあいさつ

横堀角次郎—好々爺の画人—染谷滋

草土社の時代 横堀角次郎1922年以前

岸田劉生、椿貞雄、河野通勢、中川一政、木村荘八

春陽会の時代Ⅰ 横堀角次郎1923-1945

小杉放庵、森田恒友、山本鼎、倉田白羊、梅原龍三郎、石井鶴三、三岸好太郎、倉田三郎、鳥海青児

春陽会の時代Ⅱ 横堀角次郎1945-1978

森村西三、磯部草丘、北村明道、南城一夫、清水刀根、中村節也、神保和幸

コラム 岸田劉生と鶴沼時代／赤城山／麓人社／東京大学／三西会／五人展と爽秋会／日本画

横堀角次郎年譜

横堀角次郎に関する文献目録

出品リスト

展覧会概要

謝辞

監修：染谷滋

編集：辻瑞生、忠あゆみ、福西みゆき（アーツ前橋）

執筆：住友文彦、染谷滋、辻瑞生、忠あゆみ

装幀：松田行正、杉本聖士

制作：小柳学、脇山妙子（左右社）

企画・発行：アーツ前橋

発行所：株式会社 左右社

印刷製本：日経印刷株式会社

□主要関連記事：

上毛新聞 2018.4.3、4.10、4.17 心で描く 横堀角次郎 没後40年 上/中/下

朝日新聞 2018.5.22 前橋発「名脇役」の画業 「横堀角次郎と仲間たち」展

□関連事業：

①ワークショップ「風景を描く」

日時：2018年3月24日（土）、3月25日（日）13時から16時まで

会場：24日 大胡総合運動公園周辺（前橋市堀越町473-4）

会場：25日 アーツ前橋 スタジオ

講師：衣真一郎（画家）

内容：1日目は横堀が描いた赤城山に出掛けて、屋外でスケッチした。2日目は前日に描いた作品と展覧会を鑑賞した。

参加人数：12人

②講演会「横堀角次郎の魅力」

日時：2018年4月15日（日）14時から16時まで

会場：アーツ前橋 スタジオ

講師：染谷滋（ゲストキュレーター）

内容：本展ゲストキュレーターが展覧会の見どころや、横堀の魅力について話した。

参加人数：52人

- ③講演会「横堀と三岸と鳥海と」
日時：2018年5月19日（土）14時から16時まで
会場：アーツ前橋 スタジオ
講師：原田光（美術史家）
内容：横堀と交流のあった三岸好太郎や鳥海青児らとのエピソードを交えて、春陽会や麓人社での横堀の活動について話した。
参加人数：41人
- ④くすてきな子どもたちによる弦楽アンサンブル演奏会＞
日時：2018年5月20日（日）14時から15時まで
会場：アーツ前橋 ギャラリー
協力：前橋西ロータリークラブ
参加人数：66人
- ⑤アトリップ イン アーツ前橋
日時：2018年3月21日（水・祝）14時から15時まで
会場：アーツ前橋 ギャラリー
講師：一般社団法人アーツアライブ認定アートコンダクター
参加人数：19人
- ⑥学芸員によるギャラリートツアー
日時：2018年3月31日（土）、4月16日（月）、5月12日（土）14時から15時まで
4月27日（金）18時から19時まで
会場：アーツ前橋 ギャラリー
参加人数：のべ63人
- ⑦おしゃべりアートデイズ
日時：2018年5月10日（木）から5月15日（火）14時から15時まで、
土・日曜日は11時15分から12時15分まで
参加人数：のべ61人

□担 当：辻瑞生、忠あゆみ

【出品目録】横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から郷里赤城山の風景まで

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
1	横堀角次郎	自画像	1915年	カンバス、油彩	45.8×33.5cm	群馬県立近代美術館
2	横堀角次郎	自画像	1915年	板、油彩	32.9×23.7cm	東京都現代美術館
3	横堀角次郎	風景(斎藤山より大崎遠望)	1915年	カンバス、油彩	60.8×80.5cm	群馬県立近代美術館
4	横堀角次郎	S君の肖像	1915年	板、油彩	33.0×23.5cm	東京都現代美術館
5	横堀角次郎	自画像	1915年頃	板、油彩	22.0×15.2cm	個人蔵
6	横堀角次郎	自画像	1916年	板、油彩	45.4×37.8cm	アーツ前橋
7	横堀角次郎	水たまり	1916年頃	板、油彩	23.2×33.1cm	個人蔵
8	横堀角次郎	ほり傍の冬	1916年	カンバス、油彩	37.5×45.3cm	ハラサワコレクション
9	横堀角次郎	切り開かれつつある地	1917年	カンバス、油彩	44.0×44.0cm	群馬県立近代美術館
10	横堀角次郎	細き道	1917年	板、油彩	30.0×30.4cm	群馬県立近代美術館
11	横堀角次郎	静物	1917年頃	カンバス、油彩	32.0×41.0cm	秋山コレクション
12	横堀角次郎	崖下の道	1918年	板、油彩	26.8×37.1cm	下関市立美術館
13	横堀角次郎	崖下の道	1918年頃	板、油彩	23.2×33.1cm	個人蔵
14	横堀角次郎	代々木風景		カンバス、油彩	45.4×33.7cm	アーツ前橋
15	横堀角次郎	切通し	1919年	カンバス、油彩	45.2×37.7cm	ハラサワコレクション
16	横堀角次郎	田舎の道	1919年	油彩、麻布	46.1×53.4cm	豊橋市美術館
17	横堀角次郎	代々木風景	1920年頃	カンバス、油彩	45.2×33.5cm	秋山コレクション
18	横堀角次郎	鵠沼風景	1921年頃	カンバス、油彩	38.2×45.5cm	群馬県立近代美術館
19	横堀角次郎	鵠沼小景	1922年	カンバス、油彩	32.3×41.3cm	東京都現代美術館
20	横堀角次郎	静物	1922年	カンバス、油彩	41.0×31.0cm	群馬県立近代美術館
21	横堀角次郎	静物	1922年頃	板、油彩	30.5×23.8cm	群馬県立近代美術館
22	横堀角次郎	川べり	1923年頃	カンバス、油彩	31.7×40.9cm	群馬県立近代美術館
23	横堀角次郎	黄葉	1932年	カンバス、油彩	33.7×24.5cm	秋山コレクション
24	横堀角次郎	人物習作	1932年	カンバス、油彩	60.6×45.3cm	アーツ前橋

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
25	横堀角次郎	帝大構内	1932年頃	カンバス、油彩	53.3×72.7cm	群馬県立近代美術館
26	横堀角次郎	早春	1934年	カンバス、油彩	53.0×73.0cm	群馬県立近代美術館
27	横堀角次郎	立木	1934年頃	カンバス、油彩	41.0×60.0cm	横堀禎二氏
28	横堀角次郎	静物	1935年	カンバス、油彩	23.7×33.1cm	ハラサワコレクション
29	横堀角次郎	枇杷		板、油彩	23.5×33.0cm	ハラサワコレクション
30	横堀角次郎	赤城残雪	1936年	カンバス、油彩	65.0×91.0cm	個人蔵
31	横堀角次郎	円亨寺(普陀宗乗廟)	1942年	カンバス、油彩	23.5×32.0cm	アーツ前橋
32	横堀角次郎	洋蘭	1942年	板、油彩	33.0×24.0cm	ハラサワコレクション
33	横堀角次郎	田植えもすみて	1944年	カンバス、油彩	45.5×53.2cm	群馬県立近代美術館
34	横堀角次郎	田園	1944年	板、油彩	24.2×33.0cm	アーツ前橋
35	横堀角次郎	郷里の秋	1944年	カンバス、油彩	40.8×53.0cm	ハラサワコレクション
36	横堀角次郎	豊穰	1946年	板、油彩	23.8×32.8cm	アーツ前橋
37	横堀角次郎	早春の赤城	1948年	カンバス、油彩	45.3×65.0cm	秋山コレクション
38	横堀角次郎	榛名山	1949年	カンバス、油彩	40.8×53.5cm	アーツ前橋
39	横堀角次郎	赤城山(水押にて)	1951年	カンバス、油彩	41.0×61.0cm	アーツ前橋
40	横堀角次郎	秋	1953年	カンバス、油彩	24.4×33.5cm	アーツ前橋
41	横堀角次郎	椿	1953年	カンバス、油彩	41.0×32.0cm	アーツ前橋
42	横堀角次郎	埴輪		カンバス、油彩	24.2×33.3cm	アーツ前橋
43	横堀角次郎	栗		カンバス、油彩	32.2×41.0cm	ハラサワコレクション
44	横堀角次郎	柿		カンバス、油彩	33.5×24.5cm	ハラサワコレクション
45	横堀角次郎	山麓の沼	1956年	カンバス、油彩	38.1×45.4cm	アーツ前橋
46	横堀角次郎	スイスの湖	1956年	カンバス、油彩	32.0×41.2cm	アーツ前橋
47	横堀角次郎	セーヌの橋	1956年	カンバス、油彩	39.5×51.5cm	秋山コレクション
48	横堀角次郎	ノートルダム寺院	1956年	カンバス、油彩	41.0×32.2cm	群馬県立近代美術館
49	横堀角次郎	ノートルダム寺院	1956年	カンバス、油彩	22.4×27.6cm	アーツ前橋
50	横堀角次郎	マルセイユにて	1956年	カンバス、油彩	41.0×32.0cm	秋山コレクション
51	横堀角次郎	伊太利 ベニス サンマルコ寺院	1956年頃	カンバス、油彩	40.8×53.0cm	ハラサワコレクション
52	横堀角次郎	赤城山	1959年	カンバス、油彩	65.2×91.0cm	アーツ前橋
53	横堀角次郎	月島界限		カンバス、油彩	45.5×65.3cm	個人蔵
54	横堀角次郎	赤城山	1960年	カンバス、油彩	49.0×71.5cm	個人蔵
55	横堀角次郎	三四郎池	1960年頃	カンバス、油彩	53.5×65.0cm	秋山コレクション
56	横堀角次郎	東大構内(秋)	1960年頃	カンバス、油彩	41.0×53.0cm	群馬県立近代美術館
57	横堀角次郎	三四郎池	1960-1965年	カンバス、油彩	24.5×33.5cm	アーツ前橋
58	横堀角次郎	三四郎池(橋と池)	1960-1965年	カンバス、油彩	24.5×33.4cm	アーツ前橋
59	横堀角次郎	東大三四郎池	1962年	カンバス、油彩	72.5×91.0cm	群馬県立近代美術館
60	横堀角次郎	ヒヤシンス	1962年	カンバス、油彩	33.3×24.4cm	ハラサワコレクション
61	横堀角次郎	牛久沼	1963年	カンバス、油彩	24.0×33.2cm	群馬県立歴史博物館
62	横堀角次郎	山麓の秋	1963年	カンバス、油彩	32.0×41.0cm	ハラサワコレクション
63	横堀角次郎	早春の花	1963年	カンバス、油彩	30.3×24.5cm	アーツ前橋
64	横堀角次郎	山麓の秋	1964年	カンバス、油彩	32.0×41.0cm	アーツ前橋
65	横堀角次郎	山麓の沼	1964年	カンバス、油彩	45.5×53.0cm	秋山コレクション
66	横堀角次郎	豊穰	1964年	カンバス、油彩	38.0×45.5cm	ハラサワコレクション
67	横堀角次郎	木蓮		カンバス、油彩	31.5×41.0cm	個人蔵
68	横堀角次郎	洋蘭(シンビジューム)	1965年	カンバス、油彩	45.5×38.0cm	アーツ前橋
69	横堀角次郎	桜草	1965年	カンバス、油彩	22.3×27.4cm	ハラサワコレクション
70	横堀角次郎	椿	1966年	カンバス、油彩	24.0×33.4cm	アーツ前橋
71	横堀角次郎	シクラメン	1966年	カンバス、油彩	15.8×22.7cm	秋山コレクション
72	横堀角次郎	道	1966年	カンバス、油彩	50.5×61.0cm	群馬県立近代美術館
73	横堀角次郎	東大三四郎池	1967年	カンバス、油彩	72.7×91.0cm	秋山コレクション
74	横堀角次郎	東大三四郎池	1968年	カンバス、油彩	72.5×91.0cm	ハラサワコレクション
75	横堀角次郎	赤城	1970年頃	カンバス、油彩	45.5×60.8cm	アーツ前橋
76	横堀角次郎	山麓の秋	1970年頃	カンバス、油彩	24.4×41.3cm	アーツ前橋
77	横堀角次郎	真鶴風景		カンバス、油彩	32.0×41.0cm	秋山コレクション
78	横堀角次郎	箱根二子山より		カンバス、油彩	32.0×41.0cm	秋山コレクション
79	横堀角次郎	上高地		カンバス、油彩	45.4×53.2cm	アーツ前橋
80	横堀角次郎	農家	1971年	カンバス、油彩	32.0×41.2cm	アーツ前橋

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
81	横堀角次郎	秋の沼	1971年	カンバス、油彩	50.2×65.5cm	秋山コレクション
82	横堀角次郎	初夏の蔵王	1972年	カンバス、油彩	38.0×45.5cm	ハラサワコレクション
83	横堀角次郎	シクラメン	1972年	カンバス、油彩	38.0×45.5cm	アーツ前橋
84	横堀角次郎	栗	1973-1974年	カンバス、油彩	43.5×55.5cm	アーツ前橋
85	横堀角次郎	浪騒ぐ五浦	1973年	カンバス、油彩	45.6×53.0cm	アーツ前橋
86	横堀角次郎	山麓の秋	1973年	カンバス、油彩	60.8×72.5cm	群馬県立近代美術館
87	横堀角次郎	百合	1975年	カンバス、油彩	53.2×45.5cm	群馬県立近代美術館
88	横堀角次郎	山百合	1975年頃	カンバス、油彩	37.5×45.3cm	秋山コレクション
89	横堀角次郎	紅菊		カンバス、油彩	22.0×27.4cm	ハラサワコレクション
90	横堀角次郎	トルコ桔梗		カンバス、油彩	31.9×40.8cm	秋山コレクション
91	横堀角次郎	デンドロビウム		カンバス、油彩	33.7×24.4cm	秋山コレクション
92	横堀角次郎	花(遺作)	1978年	カンバス、油彩	53.1×72.7cm	アーツ前橋
93	横堀角次郎	ペゴニアの花	1978年	カンバス、油彩	60.6×72.7cm	アーツ前橋
94	横堀角次郎	房咲水仙	1959年	紙本着色	26.1×35.0cm	アーツ前橋
95	横堀角次郎	薔薇(扇面)	1960年	紙本着色	23.0×47.0cm	ハラサワコレクション
96	横堀角次郎	蘭	1960年	紙本着色	32.0×59.5cm	アーツ前橋
97	横堀角次郎	紅白木瓜	1966年	紙本着色	24.4×33.4cm	アーツ前橋
98	横堀角次郎	秋菊	1966年	紙本着色	28.1×27.6cm	アーツ前橋
99	横堀角次郎	紫陽花	1970年	紙本着色	35.6×43.9cm	ハラサワコレクション
100	横堀角次郎	チューリップ	1970年	紙本着色	27.3×33.9cm	アーツ前橋
101	横堀角次郎	柚子	1940年	紙本着色	31.0×34.1cm	アーツ前橋
102	横堀角次郎	柿	1974年	紙本着色	37.7×34.6cm	アーツ前橋
103	横堀角次郎	石榴図		紙本着色	24.3×33.3cm	アーツ前橋
104	横堀角次郎	四季花卉集(画帖)	1939年			個人蔵
105	横堀角次郎	秋海棠	1939年	紙本着色	27.0×24.0cm	個人蔵
106	横堀角次郎	いちご	1939年	紙本着色	27.0×24.0cm	個人蔵
107	横堀角次郎	花	1939年	紙本着色	27.0×24.0cm	個人蔵
108	横堀角次郎	シクラメン	1939年	紙本着色	27.0×24.0cm	個人蔵
109	横堀角次郎	アマリリス	1939年	紙本着色	27.0×24.0cm	個人蔵
110	横堀角次郎	デンドロビウム	1939年	紙本着色	27.0×24.0cm	個人蔵
111	岸田劉生	自画像	1912年	カンバス、油彩	33.3×24.1cm	東京都現代美術館
112	岸田劉生	武者小路実篤像	1914年	カンバス、油彩	38.0×36.5cm	東京都現代美術館
113	岸田劉生	石を噛む人(天地創造)	1914年	紙、エッチング(単色)	12.6×12.9cm	東京都現代美術館
114	岸田劉生	怒れるアダム(天地創造)	1914年	紙、エッチング(単色)	12.6×12.9cm	東京都現代美術館
115	岸田劉生	欲望(天地創造)	1914年	紙、エッチング(単色)	12.7×12.6cm	東京都現代美術館
116	岸田劉生	初夏の小路	1917年	カンバス、油彩	45.3×37.9cm	下関市立美術館
117	岸田劉生	霽れたる冬之日	1917年	カンバス、油彩	54.7×59.0cm	千葉県立美術館
118	岸田劉生	五月の砂道	1918年	カンバス、油彩	31.0×40.9cm	群馬県立近代美術館
119	岸田劉生	路傍初夏	1920年	カンバス、油彩	38.0×45.5cm	埼玉県立近代美術館
120	椿貞雄	八重子像	1915年	カンバス、油彩	33.8×24.5cm	東京都現代美術館
121	椿貞雄	砂利の敷いてある道	1916年	麻布、油彩	41.0×41.0cm	豊橋市美術博物館
122	椿貞雄	横堀角次郎兄像	1921年	カンバス、油彩	41.3×32.0cm	千葉県立美術館
123	椿貞雄	冬瓜図	1925年	麻布、油彩	50.6×61.0cm	豊橋市美術博物館
124	中川一政	静物(びん・白布)	1921年	ボード、油絵具	23.5×32.8cm	神奈川県立近代美術館
125	中川一政	監獄裏の落日	1919年	カンバス、油彩	45.6×53.0cm	群馬県立近代美術館
126	木村荘八	睡眠	1917年	カンバス、油彩	49.0×105.0cm	東京都現代美術館
127	木村荘八	自画像	1918年	板、油彩	36.0×26.0cm	東京都現代美術館
128	木村荘八	祖母と子猫	1912年	カンバス、油彩	45.5×33.5cm	東京都現代美術館
129	木村荘八	寺子屋三種の内 車とどまる	1924年	板、油彩	12.0×18.0cm	府中市美術館
130	河野通勢	風景	1916年	カンバス、油彩	60.5×90.9cm	調布市武者小路実篤記念館
131	河野通勢	怪物の頭	1916年	紙、インク	18.7×28.6cm	足利市立美術館
132	河野通勢	巨人族	1916年	紙、インク	25.8×34.0cm	足利市立美術館
133	河野通勢	百姓達の礼拝 No. 7	1917年	紙、インク、墨	18.7×29.1cm	足利市立美術館
134	河野通勢	真珠貝を捧げんとする女(百姓の礼拝)	1917年	紙、水彩	25.8×17.0cm	足利市立美術館
135	河野通勢	百姓達の礼拝 試作	1917年	紙、水彩	30.8×23.0cm	足利市立美術館
136	河野通勢	自画像	1918年	板、油彩	59.0×44.5cm	調布市武者小路実篤記念館

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
137	河野通勢	発芽と開花	1918年	紙、水彩・インク	31.8×23.8cm	足利市立美術館
138	河野通勢	鎧を着た男	1919年	紙、インク	37.9×28.8cm	足利市立美術館
139	河野通勢	日本武尊	1919年	紙、インク	38.2×29.3cm	足利市立美術館
140	河野通勢	大詰「項羽を葬る劉邦」	1921年	紙、墨	25.7×34.7cm	豊橋市美術博物館
141	河野通勢	第一幕第一場「項羽虞姫の首を刀にてたたく」	1921年	紙、墨	34.5×25.5cm	豊橋市美術博物館
142	河野通勢	第一幕第三場「項羽と懐王の前で舞う虞姫」	1921年	紙、墨	25.8×34.1cm	豊橋市美術博物館
143	河野通勢	第三幕第一場「項羽が劉邦を殺そうとするが、桃娘が舞いながら邪魔をする」	1921年	紙、墨	25.5×34.3cm	豊橋市美術博物館
144	河野通勢	第四幕第二場「項羽が鶴を殺す、虞姫から目出度いといわれ」	1921年	紙、墨	34.0×25.2cm	豊橋市美術博物館
145	河野通勢	第五幕第三場「最後の舞いの虞姫と腰元」	1921年	紙、墨	25.5×34.3cm	豊橋市美術博物館
146	河野通勢	花の図	1926-1927年	カンバス、油彩	72.8×60.6cm	足利市立美術館
147	小杉放庵	秋果童子	1926年	カンバス、油彩	71.4×51.5cm	群馬県立館林美術館
148	小杉放庵	母子採果	1926年頃	カンバス、油彩	116.0×90.3cm	小杉放庵記念日光美術館
149	小杉放庵	厳島風景	1933年	カンバス、油彩	71.0×89.0cm	小杉放庵記念日光美術館 (大木コレクション)
150	森田恒友	緑野	1926-1927年	絹本着色	45.0×54.6cm	埼玉県立近代美術館
151	森田恒友	尾瀬沼風景	1932年	カンバス、油彩	24.0×32.7cm	埼玉県立近代美術館
152	山本鼎	浅間山秋の朝	1929年	布、油彩	38.0×46.0cm	上田市立美術館
153	山本鼎	榛名湖初秋	1937年	布、油彩	73.0×90.5cm	上田市立美術館
154	倉田白羊	柳の若芽	1933年	カンバス、油彩	45.5×53.4cm	埼玉県立近代美術館
155	倉田白羊	山居の秋	1936年	カンバス、油彩	61.0×73.0cm	埼玉県立近代美術館
156	梅原龍三郎	熱海野島別荘	1933年	カンバス、油彩	53.5×65.3cm	神奈川県立近代美術館
157	石井鶴三	雷鳥	1928年	カンバス、油彩	各41.0×27.5cm	小県上田教育会
158	石井鶴三	怨霊	1933年	紙本着色	24.5×34.0cm	小県上田教育会
159	三岸好太郎	ニコライ堂遠望	1928年	カンバス、油絵具	32.0×41.0cm	神奈川県立近代美術館
160	三岸好太郎	六甲風景		カンバス、油彩	24.5×33.6cm	府中市美術館
161	鳥海青児	裸婦	1926-1930年	カンバス、油彩	42.5×34.5cm	平塚市美術館
162	鳥海青児	裸婦(横たわる)	1926-1930年	カンバス、油彩	38.0×48.5cm	平塚市美術館
163	鳥海青児	芦屋風景	1926年	板、油彩	26.1×40.7cm	平塚市美術館
164	倉田三郎	果物図	1922年	板、油彩	41.0×53.0cm	府中市美術館
165	倉田三郎	風景	1924年	カンバス、油彩	45.5×53.0cm	府中市美術館
166	森村西三	鍔銅鯉置物		鍔銅	13.5×36.0×11.0cm	伊勢崎市
167	森村西三	鍔銅鯉置物		鍔銅	11.0×36.5×11.0cm	個人蔵
168	森村西三	青銅置物 錦鶏鳥		鍔銅	18.5×47.8×10.7cm	株式会社群馬銀行
169	森村西三	青銅水滴・ペリカン		鍔銅	8.0×4.5×4.2cm	原田集古館
170	森村西三	兎		鍔銅	12.5×40.5×5.0cm	原田集古館
171	礪部草丘	山麓清秋		絹本着色	42.8×51.0cm	伊勢崎市
172	礪部草丘	屠顔暁妝		絹本着色	51.0×57.5cm	伊勢崎市
173	礪部草丘	入江(松林)		紙本着色	52.3×58.5cm	伊勢崎市
174	礪部草丘	東海春暁	1940年	絹本着色	107.5×141.5cm	伊勢崎市
175	北村明道	断弦之図	1951年	絹本着色	43.7×51.5cm	群馬県立歴史博物館
176	北村明道	紫式部	1962年	紙本彩色	52.0×45.8cm	群馬県立歴史博物館
177	神保和幸	夕映赤城山	1947年	カンバス、油彩	36.3×106.6cm	ハラサワコレクション
178	神保和幸	鳥川より榛名山遠望	1949年	カンバス、油彩	50.0×60.8cm	ハラサワコレクション
179	神保和幸	幸福を招く花	1958年	板、油彩	41.0×53.0cm	ハラサワコレクション
180	神保和幸	幸福を招く花	1961年	板、油彩	24.0×33.0cm	ハラサワコレクション
181	清水刀根	三津浜風景	1960年頃	カンバス、油彩	38.2×45.6cm	アーツ前橋
182	清水刀根	椅子のある室内	1962年頃	カンバス、油彩	91.0×65.3cm	アーツ前橋
183	清水刀根	静物(果物)	1962年	カンバス、油彩	32.3×41.2cm	アーツ前橋
184	南城一夫	ピエロ	1958年	カンバス、油彩	45.6×38.2cm	アーツ前橋
185	南城一夫	猫	1960年頃	カンバス、油彩	45.7×33.5cm	アーツ前橋
186	南城一夫	赤城山	1961-1962年	カンバス、油彩	21.2×33.6cm	アーツ前橋
187	南城一夫	花(ひまわり)	1962年	カンバス、油彩	46.0×53.4cm	アーツ前橋
188	中村節也	A子像	1957年	カンバス、油彩	60.1×45.5cm	アーツ前橋
189	中村節也	グランドキャニオン	1961年	カンバス、油彩	46.0×53.5cm	アーツ前橋
190	中村節也	尾瀬	1965年	カンバス、油彩	61.1×73.0cm	アーツ前橋

(6) Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵

「Art Meets」は、アートを通じて創造的な日常を発見し、多様な考え方や感性に触れることを目的に、中堅アーティストの活動を紹介する企画展として、年1回開催している。第5回は自然を捉える表現をテーマに菊池敏正（1979年生まれ）と馬場恵（1969年生まれ）を紹介した。菊池は彫刻の保存・修復を学ぶことを通して身に付けた古典技法を用いて、数理モデルや動物の骨など学術標本をモチーフに作品制作する。馬場は受粉させるために擬態化する蘭など植物の機能美に魅了され、実在する植物の生態をリサーチし、実在する植物の写実と、リサーチを踏まえた架空の作品を制作する。二人の卓越した描写力と実在する形を利用したユニークな想像力は、私たちの世界を構成する形の面白さに気づかせる。



□会 期：2018年3月17日（土）－ 5月29日（火）（展覧会日数 64日）

□開館時間：11時から19時まで

□休 館 日：水曜日（3月21日は開館、翌日休館）

□会 場：アーツ前橋 ギャラリー1

□観 覧 料：無料

□主 催：アーツ前橋

□出品点数：31点

□入場者数：4,770人

□印 刷 物：

①チラシ：A4判、30,000部

②出品目録：A4判

③パネル：主催者あいさつ文B2判

④小冊子：A5判10頁、3,000部

内容

「展覧会概要」

「ごあいさつ」

「作家コメント：菊池敏正」

「作家コメント：馬場恵」

「作家解説」吉田成志

「出品リスト」

企画・発行：アーツ前橋

編集・執筆：吉田成志（アーツ前橋）

撮影：木暮伸也

印刷・製本：ジャーナル印刷株式会社

□関連事業：

①日本彫刻の古典技法を体験するワークショップ

日時：2018年4月29日（日）14時から16時まで

会場：アーツ前橋 スタジオ

講師：菊池敏正

内容：古典彫刻や学術標本の修復をはじめ、アンティーク家具などにも用いられる古色彩色の技術を、保存・修復の専門家でもある菊池とともに体験するワークショップ。

参加人数：11人

②架空の花をつくるワークショップ

日時：2018年5月6日（日）14時から16時まで

会場：アーツ前橋 スタジオ

講師：馬場恵

内容：花の機能美に魅せられ、その生態を参考にして架空の形態の花をつくる馬場の作品制作の背景をしながら架空の花をつくるワークショップ。

参加人数：28人

③学芸員によるギャラリートーク

日時：2018年4月1日（土）、4月28日（日）14時から14時30分まで

5月13日（日）13時半から14時まで

会場：アーツ前橋 ギャラリー1

参加人数：のべ31人

④こどもアート探検

日時：2018年5月12日（土）15時30分から

参加人数：17人

□担当：吉田成志

【出品目録】Art Meets 05 菊池敏正／馬場恵

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
1	菊池敏正	Geometrical Form-032	2016年	檜、漆	60×60×60cm	作家蔵
2	菊池敏正	Geometrical Form-041-048	2017年	檜、漆、顔料	サイズ可変	作家蔵
3	菊池敏正	Geometrical Form-020-024	2014年	檜、漆、顔料	サイズ可変	作家蔵
4	菊池敏正	Geometrical Form-025	2014年	檜、漆、顔料	サイズ可変	作家蔵
5	菊池敏正	Hydrodynamics Form-011	2011年	檜、漆、顔料、額縁	60×67×120cm	作家蔵
6	菊池敏正	Geometrical Form-013	2013年	檜、漆、顔料	69×29×13cm	作家蔵
7	菊池敏正	Figurative Form-023	2015年	檜、漆	71×30×22cm	作家蔵
8	菊池敏正	Figurative Form-022	2016年	檜	サイズ可変	作家蔵
9	菊池敏正	Geometrical Form-015	2013年	檜、漆、顔料	104×14×13cm	作家蔵
10	菊池敏正	Geometrical Form-014	2014年	檜、漆、顔料、アルミニウム	36×36×32cm	作家蔵
11	菊池敏正	Scientific Form-002	2016年	雲丹、檜、漆	32×44×101cm	作家蔵
12	菊池敏正	Hydrodynamics Form-012	2014年	檜、漆、顔料	124×23×6cm	個人蔵
13	菊池敏正	Geometrical Form-012	2014年	檜、漆、顔料	347×80×80cm	作家蔵
14	馬場恵	Entropy-L	2015年	紙、エッチング、シルクスクリーン	60×80×5cm	作家蔵
15	馬場恵	Entropy-V	2015年	紙、エッチング、シルクスクリーン	60×80×5cm	作家蔵
16	馬場恵	Experiment (Collectore Orchid)	2009年	紙、リトグラフ、シルクスクリーン、エッチング	60×45cm	作家蔵
17	馬場恵	Experiment (Empty Orchid)	2009年	紙、リトグラフ、シルクスクリーン、エッチング	60×45cm	作家蔵
18	馬場恵	Experiment (Pink Orchid)	2009年	紙、リトグラフ、シルクスクリーン、エッチング	60×45cm	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法	所蔵
19	馬場恵	Experiment (Transpalent Orchid)	2009年	紙、リトグラフ、シルクスクリーン、エッチング	60×45cm	作家蔵
20	馬場恵	meta-species Hybrid	2011年	アルミ合板、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	70×50×7cm	作家蔵
21	馬場恵	Extincted Wild Orchids	2013年	アルミ合板、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	45×45×7cm	作家蔵
22	馬場恵	meta species Anacamptis	2011年	アルミ合板、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	30×20×5cm	作家蔵
23	馬場恵	meta species Serapias X	2011年	アルミ合板、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	30×20×5cm	作家蔵
24	馬場恵	meta species Ophrys X	2011年	アルミ合板、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	30×20×5cm	作家蔵
25	馬場恵	Lips	2010年	アルミ合板、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	60×60×7cm	作家蔵
26	馬場恵	meta-species Variation	2018年	アルミ合板、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	各30×20×5cm×20点	作家蔵
27	馬場恵	Strategy - structure	2016年	真鍮、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	100×45×45cm	作家蔵
28	馬場恵	Strategy - signpost	2016年	真鍮、エッチング、雁皮紙、PET 板にコラージュ	100×30×30cm	作家蔵
29	馬場恵	Ophrys sphegodes I	2018年	紙、エッチング	42.4×54.5cm	作家蔵
30	馬場恵	Ophrys sphegodes II	2018年	紙、エッチング	42.4×54.5cm	作家蔵
31	馬場恵	Symbiosis prayer	2015年	PET 板、エッチング、シルクスクリーン、紐	180×200cm	作家蔵
32	馬場恵	Transpalent plants	2008年	アクリル板にコラージュ、エッチング、雁皮紙	各45×90cm×4点	作家蔵

(7) 学芸員によるギャラリートour

日付	曜日	時間	イベント名	担当者	会場	参加者数
7月 9日	日	14:00～15:30	「コレクション」展 ギャラリートour	辻瑞生	ギャラリー	7人
8月 5日	土	14:00～15:30	「コレクション+」展 “ミュージアムの秘密” 館内バックヤードツアー	辻瑞生	館内	15人
8月27日	日	14:00～15:00	「コレクション+」展 “ミュージアムの秘密” 館内バックヤードツアー	辻瑞生	館内	18人
11月18日	土	15:00～16:20	「ヒツクリコガクツリコ」展 ギャラリートour	今井朋	ギャラリー	10人
12月10日	日	13:30～14:40	「ヒツクリコガクツリコ」展 ギャラリートour	忠あゆみ	ギャラリー	9人
1月13日	土	15:00～16:00	「ヒツクリコガクツリコ」展 ギャラリートour	今井朋	ギャラリー	17人
2月25日	日	14:00～14:30	「彼女たちのまなざし」展 ギャラリートour	忠あゆみ	ギャラリー	11人
3月 3日	土	14:00～14:30	「彼女たちのまなざし」展 ギャラリートour	忠あゆみ	ギャラリー	3人
3月31日	土	14:00～15:00	「横堀角次郎」展 作品解説会	辻瑞生	地下ギャラリー	15人
4月 1日	日	14:00～14:30	「Art Meets 05」展 ギャラリートour	吉田成志	ギャラリー1	8人
4月16日	月	14:00～15:00	「横堀角次郎」展 作品解説会	辻瑞生	地下ギャラリー	18人
4月27日	金	18:00～19:00	「横堀角次郎」展 作品解説会	辻瑞生	地下ギャラリー	12人
4月28日	土	14:00～14:30	「Art Meets 05」展 ギャラリートour	吉田成志	ギャラリー1	2人
5月12日	土	14:00～15:00	「横堀角次郎」展 作品解説会	辻瑞生	地下ギャラリー	18人
5月13日	日	13:30～14:00	「Art Meets 05」展 ギャラリートour	吉田成志	ギャラリー1	21人

Ⅱ 地域アートプロジェクト

Ⅱ-1 滞在制作事業

当事業ではアーティストの活動を支援するため、国内外のアーティストを前橋に招聘し、作品制作に必要な空間と時間を提供している。2017年度は、国外からケレン・ベンベニスティ、イルワン・アーメット&ティタ・サリナを、また公募により群馬県にゆかりのあるアーティストとして衣真一郎、ダンスカンパニー ときかたちを招聘した。

【国外アーティスト】

海外在住のアーティストやキュレーターによる推薦を経て、国外のアーティストを招聘した。

□推薦委員：ポーリン・ヤオ（M+キュレーター／香港）、クォン・ジン（キュレーター／韓国）、
照屋勇賢（アーティスト／日本 ※アメリカ在住）、かないみき（アート・ジャーナリスト／日本 ※ドイツ在住）、ヤップ・ソービン（キュレーター／マレーシア）

（1）ケレン・ベンベニスティ

イスラエル生まれ、現在はアメリカ・ニューヨークを拠点に活動するケレン・ベンベニスティは、過去から現在に至る時間について、また現代における言語の概念と古代の起源とを結びつけることなどをテーマに様々なメディアを用いて作品を制作している。前橋市の豊富な水資源に興味を持ち、市内をめぐる水のリサーチを行い、県の水道局水質調査センターが行う利根川上流の水質調査に同行した。また、豊富な水に支えられかつて栄えた養蚕業に興味を広げ、安中市で繭を育て手作業で糸つむぎを行っている蚕絲館などの協力を得て、養蚕の現場を撮影した映像を元に作品を制作した。



□滞在期間：2017年6月4日（日）－ 8月3日（木）（滞在日数 61日間）

□事前リサーチ滞在期間：2017年4月11日（火）－ 4月19日（水）（滞在日数 9日間）

□滞在所：堅町スタジオ（前橋市千代田町2丁目4-1）

□関連事業：

① オープンスタジオ

日時：2017年7月22日（土）、23日（日）13時から19時まで

会場：堅町スタジオ

内容：制作過程の映像やドローイングリサーチにかかわる素材などを公開した。

参加人数：のべ82人

② アーティストトーク

日時：7月22日（土）18時から19時まで

会場：堅町スタジオ

内容：過去の作品やこれまでの活動、リサーチ時の経験や制作中の映像作品について話した。

参加人数：36人

③滞在制作事業関連展示

日時：2017年8月3日（木）－ 9月26日（火）

会場：ROBSON COFFEEアーツ前橋店（前橋市千代田町5丁目1-16）

内容：滞在中に制作した墨と和紙を使った作品を展示した。

□主要関連記事：

朝日新聞 2017.7.21 「絹産業と水」映像や造形に

（2）イルワン・アーメット&ティタ・サリナ

インドネシア出身・在住で、現在は世界各地で活動するイルワン・アーメット&ティタ・サリナは、複雑化した社会問題に焦点を当て、公共空間をフィールドにユーモアを含んだ作品を多く制作している。これまでに、台湾や韓国など様々な国で移民として暮らすインドネシア人の労働者をリサーチし、彼らを題材とした作品を発表しているが、前橋でも近年増加しているインドネシア人の留学生や研修生らとのコミュニケーションを重ねた。数年単位で入れ替わってしまうインドネシア人留学生らが日本で得た経験や知識を次の留学生に共有・伝達する方法を探るプロジェクトも継続される。ほかにも、いくつかの作品を同時並行的に制作した。



□滞在期間：2017年11月14日（火）－ 2018年2月3日（土）（滞在日数 85日間）

□滞在場所：堅町スタジオ

□関連事業：

①オープンスタジオ

日時：2018年1月13日（土）、14日（日）13時から19時まで

会場：堅町スタジオ

内容：これまでの作品や滞在中に制作した作品などを公開した。

参加人数：のべ162人

②ワークショップ（ディスカッション形式）

日時：1月14日（日）12時から15時

会場：堅町スタジオ

内容：県内で日本語を勉強するインドネシア人留学生や研修生らを中心に声をかけ、「未来」と「現在」について話し合うワークショップを開催した。

参加人数：127人

③アーティストトーク

日時：2018年1月14日（日）17時から18時まで

会場：堅町スタジオ

内容：これまでの作品の紹介や、リサーチしたこと、制作した作品についてなどを話した。

参加人数：35人

【群馬県にゆかりのあるアーティスト】

3年目となった「群馬県にゆかりのあるアーティスト」を対象とした公募では、より充実した制作の機会となるよう期間を長く設定し、若いアーティストにも滞在制作の機会を与えるため「群馬県にゆかりがあり、30歳以下のアーティスト」の公募枠を設けた。

□公募期間：2017年4月10日（月）－ 5月7日（日）

□公募内容：プログラムA「群馬県にゆかりがあり、30歳以下のアーティスト」
プログラムB「年齢制限なく、群馬県にゆかりのあるアーティスト」

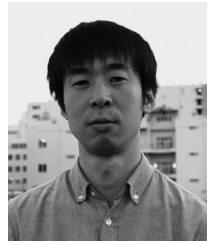
□応募数：9件

□審査日時：2017年5月18日（木）

□審査員：岡部あおみ（美術評論家／パリ日本文化会館展示部門アーティストディレクター）、
白川昌生（アーティスト）、田中龍也（群馬県立近代美術館 学芸員）、住友文彦（アーツ前橋 館長）

（3）衣真一郎

プログラムAで招聘した衣真一郎は、静物、人、建物等の身近にあるものや、生まれ育った渋川市伊香保町からみえる景色や自身の記憶に残る原風景をモチーフに絵画と立体などによる作品を制作している。伊香保町から眺めていた少し離れた地域としての前橋を改めて自身の足で歩き、以前よりモチーフとして登場していた古墳や市内の風景を見て回った。また、アーツ前橋の横堀角次郎展開催準備の際、担当学芸員の調査にも同行し、横堀の眺めた景色を実際に見るなど、広く風景のリサーチを行った。



□滞在期間：2017年8月29日（火）－ 10月1日（日）（滞在日数 34日間）

□滞在所：堅町スタジオ

□関連事業：

①オープスタジオ

日時：2017年9月23日（土）、24日（日）13時から19時まで

会場：堅町スタジオ

内容：近年制作した作品や滞在中に制作した作品などを展示した。

参加人数：24人

②アーティストトーク

日時：2017年9月24日（日）17時から18時まで

会場：堅町スタジオ

ゲスト：田中龍也（群馬県立近代美術館 学芸員）

内容：田中氏をゲストにこれまでの作品や今回の滞在中に制作した作品についてトークを行った。

参加人数：50人

③滞在制作事業関連展示

日時：2017年10月1日（日）－ 2018年1月16日（火）

会場：ROBSON COFFEEアーツ前橋店

内容：滞在中に制作した作品などを中心に展示を行った。

（４）ダンスカンパニー としかたち

プログラムBでは、本事業で初めてとなる身体表現のアーティストとして、ダンスカンパニー としかたちが招聘された。グループの形態をとるアーティストの招聘も初めてである。彼らは主宰の尾花藍子を中心に、群馬県出身でダンサーの安藤暁子、舞踊家としても活動するメル（Mer）らバックグラウンドの異なるメンバーによって構成され、公演やプロジェクトに応じて形を変えている。滞在期間中は、尾花を中心に数名が滞在し、それぞれワークショップやリサーチを重ね、市内のれんが蔵での滞在制作成果発表を目指した。滞在前の2017年10月には、「としかたち長期プロジェクト第一弾 路を辿る」が非公開の形で実施された。2018年3月の成果発表は「としかたち長期プロジェクト第二弾」と位置付けられた。



□滞在期間：2018年2月5日（月）－ 3月25日（日）（滞在日数49日間）

□滞在場所：堅町スタジオ

□関連事業：

「ときかたち長期プロジェクト第二弾」

①公開稽古

日時：2018年3月17日（土）、18日（日）13時から19時まで

会場：前橋市芸術文化れんが蔵（前橋市三河町1丁目16-27）

内容：ワークショップを含めたダンス公演に向けた公開稽古を行った。

参加人数：のべ115人

②ワークショップを含めたダンス公演

日時：3月18日（日）14時から15時まで

内容：場や他者の身体に向き合い、その結果自身の身体と向き合うことを促される
ワークショップから公演へとつながるプログラムを開催した。

参加人数：82人

③アフタートーク

日時：3月18日（日）15時から16時まで

ゲスト：小出和彦（劇作家・演出家）

内容：制作のヒントともなった小出氏の戯曲や地域を掘り下げることについての
トークを行った。

参加人数：82人

□主要関連記事：

上毛新聞 2018.3.18 きょう「ダンスカンパニー」公演 公開稽古で即興表現

□担当：五十嵐純

Ⅱ-2 駅家ノ木馬祭

アーティスト・白川昌生が企画・構想した、前橋の歴史上の人物をめぐる虚実ないまぜとなった物語「駅家ノ木馬物語」。その物語に出てくるお祭りを実際に前橋中心市街地で行った。6年目となる2017年は春と秋の2回開催し、大木馬1体と小木馬4体が参加者の踊りや太鼓の音、「木馬だ、木馬だ、だ、だ、だ」のかけ声とともに、中心市街地を練り歩いた。また、秋は踊りの練習を行うワークショップやめぶくフェスとのコラボレーション企画も行った。



□アーティスト：白川昌生

□主 催：駅家ノ木馬祭実行委員会

（1）春の木馬祭り

□日 時：2017年4月29日（土・祝）11時から13時まで

□会 場：弁天通り大蓮寺集合、広瀬川、るなばあく、前橋公園、利根川ほか

□参加人数：約30人

（2）秋の木馬祭り

□日 時：2017年11月5日（日）

1回目：11時から12時まで

2回目：13時から14時まで

□会 場：大蓮寺集合～弁天通り商店街

□参加人数：約50人

□関連事業：

①練習会

日時：2017年11月2日（木）19時から20時30分まで

会場：大渡体育館（前橋市大渡町2-3-11）

講師：松原東洋（トンデ空静）

内容：華龍太鼓のリズムに合わせて秋の木馬祭りの掛け声と振り付けを練習した。

参加人数：約15名

□担 当：忠あゆみ

Ⅱ-3 表現の森 継続事業

企画展「表現の森 協働としてのアート」（2016年7月22日～9月25日）をきっかけとして、アーティストと前橋市内にある施設や団体が協働するプロジェクトが始動。2017年度も継続して事業をおこない、アートが福祉、教育、医療のような異なる現場に入りながら対話や交流を続けている。

（１）石坂亥士、山賀ざくろ×清水の会 えいめい

神楽太鼓奏者の石坂亥士とダンサーの山賀ざくろは、音や身体表現の即興ワークショップを通じて清水の会 えいめいの利用者と交流。2016年度は主にデイサービスで活動を行ったが、2017年度から特別養護老人ホームに活動の場を移し、高齢者施設で継続的に活動を行ないながら、高齢者とアーティストの協働の可能性を探った。また、アートのワークショップと福祉のレクリエーション、それぞれが目指すことの相違点や共通点を再考した。文化庁と群馬大学の共同研究プロジェクトの対象として、事業評価の視点から群馬大学主催によるシンポジウムも開催された。



- 活動期間：2017年4月21日（金）－ 1月12日（金）
- アーティスト：石坂亥士、山賀ざくろ
- 連 携 先：清水の会 えいめい 特別養護老人ホーム
- コーディネーター：木村祐子

（２）滝沢達史×アリスの広場

アリスの広場は、ひきこもり経験者でもある佐藤真人によって前橋市内にオープンしたフリースペース。ひきこもりを脱しても、学校や社会へ行くことに困難を感じる若者たちが、自宅とは異なる外出先として利用している。2017年度の活動は、主にフリースペースで行う「アリス美術部」と休館日のアーツ前橋を若者たちと訪れる「ゆったりアーツ」を行った。また、アリスの広場が主催し、アーツ前橋が協力という形で「ゆったりアウトドア」という中之条へ出かけるプログラムも開催した。アーツカウンシル東京が開催する「TURN」展の中でも本活動が紹介された。



□活動期間：2017年4月19日（水）－ 2018年3月21日（水・祝）

□アーティスト：滝沢達史

□連 携 先：NPO法人 群馬若者ネット アリスの広場

□主要関連記事：

朝日新聞 2017. 8. 19 脱引きこもり アートで支援

（３）中島佑太×南橋団地

アーティストの中島佑太が5歳になるまで育った南橋団地の住人たちを対象にプロジェクトを継続的に行う。2016年度は団地が持つ住環境の特性をワークショップや人々との交流を通じて見つめることで、団地の中に存在する「他者の視線」や「不可視の境界」、また団地の中の人の往来や美術館と南橋団地の行き来の問題から「移動」することをテーマに考えた。2017年度は、南橋団地の学区である桃川小学校にAISプログラムとして中島を派遣し、3年生から6年生の図工授業の補助教員として、子どもたちとの交流を深めた。学校の授業と団地でのワークショップを往復しながら活動することで、アーティストが地域の中に入り込む可能性を探った。



□活動時期：2017年10月2日（月）－ 2018年3月25日（日）

□アーティスト：中島佑太

□連 携 先：南橋団地（前橋市南橋町）

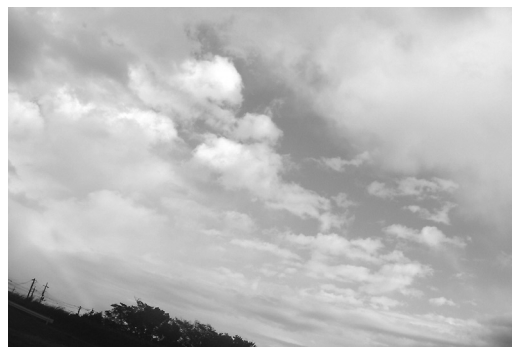
□協 力：NPO法人 まえばしプロジェクト、群馬大学

□主要関連記事：

上毛新聞 2018. 3. 28 自由な発想で旅支度

（４）廣瀬智央、後藤朋美×のぞみの家

アーツ前橋開館前に廣瀬智央と後藤朋美は、前橋の母子生活支援施設ののぞみの家の子どもたちと空の写真の「交換日記」を通じて作品《空のプロジェクト：遠い空、近い空》を共に制作した。2016年度の「表現の森 協働としてのアート」展では、のぞみの家の子どもたちや母親と一緒に「タイムカプセルプロジェクト」を始動させた。2017年度には、19年間継続するアートプロジェクトとして、施設の母子とのワークショップを開始した。



□活動時期：2017年11月2日（木）－ 2018年3月23日（金）

□アーティスト：廣瀬智央、後藤朋美

□連 携 先：社会福祉法人 上毛愛隣社 のぞみの家（母子生活支援施設）

表現の森 関連イベント

日付	曜日	時間	イベント名	講師	場所	参加人数
2017/4/19	水	13:00～18:00	第1回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	12
2017/4/21	金	15:00～16:00	第1回 えいめい音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	75
2017/5/10	水	13:00～18:00	第2回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場、ギャラリー	10
2017/5/29	月	15:00～16:00	第2回 えいめい音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	82
2017/5/30	火	17:45～18:05	えいめいスタッフ向けワークショップ	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	31
2017/6/7	水	13:00～18:00	第3回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	11
2017/7/19	水	13:00～18:00	第4回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	9
2017/7/28	金	15:00～16:00	第3回 えいめい音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	75
2017/8/2	水	13:00～18:00	第5回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	7
2017/8/23	水	13:00～18:00	第6回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	10
2017/9/15	金	15:00～16:00	第4回 えいめい音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	81
2017/9/21-22	水、木	10:00～	ゆったりアウトドア	滝沢達史	中之条町	15
2017/10/20	金	15:00～16:00	第5回 えいめい音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	73
2017/11/2	木	17:00～18:00	空のプロジェクト2.0ガイダンス	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家集会室	18
2017/11/4	土	13:00～16:00	第1回 空のプロジェクト2.0 ①	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家集会室、利根川河川敷	20
2017/11/18	土	12:00～14:00	第1回 空のプロジェクト2.0 ②	後藤朋美	のぞみの家学習室	11
2017/11/21	火	17:00～18:00	第1回 空のプロジェクト2.0 ③	後藤朋美	のぞみの家学習室	6
2017/11/29	水	14:00～16:30	第7回 アリス美術部	滝沢達史	アーツ前橋 ギャラリー	10
2017/12/20	水	13:00～18:00	第8回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	10
2018/1/12	金	15:00～16:00	第6回 えいめい音の玉手箱	石坂亥士、山賀ざくろ	特別養護老人ホームえいめい	54
2018/1/16	火	13:00～15:00	南橘団地生き生きサロンWS	中島佑太	南橘団地集会室	30
2018/1/24	水	13:00～18:00	第9回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	10
2018/2/4	日	13:30～16:00	中島佑太×南橘団地 ここは、海です。WS	中島佑太	南橘公民館	46
2018/2/11	日	13:30～16:00	中島佑太×南橘団地 ここは、海です。WS	中島佑太	南橘公民館	39
2018/2/8	木	13:00～18:00	第10回 アリス美術部	滝沢達史	アリスの広場	10
2018/2/17	土	13:00～17:00	第2回 空のプロジェクト2.0①	後藤朋美	のぞみの家、前橋公園、臨江閣	15
2018/3/11	日	13:30～16:00	中島佑太×南橘団地 旅のはじまりです。WS	中島佑太	南橘公民館	42
2018/3/15	木	16:30～18:00	第2回 空のプロジェクト2.0②	後藤朋美	のぞみの家	12
2018/3/21-22	水、木	10:00～	ゆったりアウトドア	滝沢達史	中之条町	12
2018/3/23	金	15:30～18:30	第2回 空のプロジェクト2.0③	後藤朋美	のぞみの家	16
2018/3/25	日	13:30～16:00	中島佑太×南橘団地 旅のはじまりです。WS	中島佑太	南橘公民館	45

□担 当：今井朋、小田久美子

Ⅲ ラーニング

Ⅲ-1 連携企画事業

(1) ロビーライブ

市内で音楽のイベントなどを企画する市民をコーディネーターとし、年6回の音楽ライブを実施した。誰でも気軽に鑑賞できるように会場をアーツ前橋の交流スペースとして、様々なジャンルの音楽を紹介した。

- 主 催：アーツ前橋
- コーディネーター：岡庭涼、鈴木伸一、岩崎有季
- 会 場：アーツ前橋 交流スペース
- 料 金：無料



①ロビーライブ vol. 11 ジャズ

日時：2017年7月30日（日）13時から／14時30分から

出演：たいちゃんず

内容：女性のみで構成されるジャズバンド「たいちゃんず」によるライブを開催した。

参加人数：110人

②ロビーライブ vol. 12 電子音楽

日時：2017年8月20日（日）14時から／15時から

出演：富沢伸、永田一直

内容：2名のソロ演奏とセッションを行った。

参加人数：90人

③ロビーライブ vol. 13 ソウル／ヒップホップ

日時：2017年11月19日（日）14時から15時

出演：MASSAN

内容：ボーカル&ラッパーのMASSANによるライブを開催した。

参加人数：65人

④ロビーライブ vol. 14 世界の舞曲（踊り明かそう）

日時：2017年12月17日（日）13時から／14時30分から

出演：佐野隆（ヴァイオリン）、中村陽子（ピアノ）

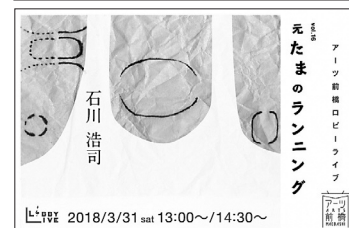
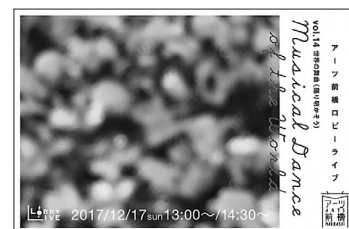
内容：世界の舞曲をテーマにさまざまな曲を演奏した。

参加人数：88人

⑤ロビーライブ vol. 15 アンビエント

日時：2018年1月7日（日）14時から／15時から

出演：Kyoka



内容：電子音楽の最高峰レーベル「raster-noton」初の女性アーティストとしても注目された Kyoka によるソロライブを開催した。

参加人数：250 人

⑥ロビーライブ vol. 16 元たまのランニング

日時：2018 年 3 月 31 日（土）13 時から／14 時 30 分から

出演：石川浩司

内容：バンド「たま」でランニング姿でパーカッション・ボーカルを担当した石川浩司によるソロライブを開催した。

参加人数：245 人

□印刷物：

①チラシ：A6 判、各 1,000 部

□担 当：五十嵐純

Ⅲ-2 あ一つひろば

アーツ前橋でアートを鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したり「ひろば」のように色々な体験ができるイベントプログラム。アーティストや展覧会、シーズンイベントと連動したプログラムを実施し、子どもから大人まで幅広い表現に出会う体験ができるようにした。今年度は、親子が多く来館している前橋市児童文化センターでの出張プログラムやこれまでアーツ前橋に個別の来館が少なかった高校から大学生を対象とした「あ一つひろば for U25」を初開催した。

□主 催：前橋まちなか文化祭実行委員会・アーツ前橋

□共 催：前橋市児童文化センター
(11 月 18 日、23 日実施分)

□助 成：平成 29 年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業



(1) 第1回あ一つひろば

①天の川の魔女をつくろう

日時：2017年6月25日（土）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 スタジオ、交流スペース

講師：寺村サチコ（アーティスト）

内容：アーティストの寺村サチコによるワークショップでは、織姫と彦星を邪魔する「天の川の魔女」と「魔女をつかまえるためのエサ」を親子やサポーターらと制作し、アーツ前橋外壁と交流スペースに七夕飾り《よあけの晩》として展示した。（展示期間：7月6日－7月30日）

参加人数：25人

②アーツのかげら 缶バッジづくり

日時：2017年6月25日（土）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

講師：アーツ前橋サポーター

内容：ワークシートに沿ってデザインを考え、オリジナル缶バッジを制作した。

③ウマくなくてもいいスタジオ

日時：2017年6月25日（土）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

講師：アーツ前橋サポーター

内容：あらかじめ用意してある素材や材料で自由に工作ができるスペースを設けた。小学生以下の子どもを対象としたアートツアー「こどもアート探検」も実施した。

参加人数：130人

(2) 第2回あ一つひろば

①ウマくなくてもいいスタジオ

日時：2017年8月19日（土）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

講師：アーツ前橋サポーター

内容：定例の、あらかじめ用意してある素材や材料で自由に工作ができるスペースを設けた。「こどもアート探検」も実施した。

②「たんけんマップ」配布

日時：2017年8月19日（土）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

内容：アーツ前橋を自由に見て回る際のヒントやミッション（指令）が書かれた地図を配布した。

③ねりたま???

日時：2017年8月19日（土）14時から17時まで時間入れ替え制

会場：アーツ前橋 スタジオ

講師：アーツ前橋サポーター、スタッフ

内容：当日の天気が悪かったため当初予定していた「カラフルアーツ」ではなく、展示会に出品されていた工芸作品をヒントに、粘土を使った表題の鑑賞のプログラムのみサポーターとスタッフで実施した。

参加人数：のべ184人

(3) 出張あーつひろばin前橋市児童文化センター

①いろいろな紙を作ろう！

日時：2017年11月18日（土）13時30分から15時30分

会場：前橋市児童文化センター2階 はっけんラボ（前橋市西片貝町5丁目8）

講師：三上愛（染色造形作家）

内容：本にするための紙を制作した。スタンプやローラー、ビー玉、紙版画、穴あけの4つのブースに分かれて、色とりどりの様々な模様の紙が出来上がった。

参加人数：21人

②マイブック／はじめての本作り

日時：2017年11月23日（木・祝）13時30分から15時30分

会場：前橋市児童文化センター2階 はっけんラボ

講師：三上愛（染色造形作家）

内容：一折中綴じ製本を体験しながらオリジナルの本を制作した。18日に制作した紙も素材にしながら、紙の組み合わせを考えて製本した。本の形になった後は、模様をもとに更に描きこんだり、タイトルを考えたり、端紙でしおりを作ったりして、親子で会話しながら個性豊かな本が誕生した。

参加人数：38人

(4) 第4回あーつひろば

①かみ・いろ・えがく×本を作る

日時：2017年11月26日（日）14時から16時まで

会場：アーツ前橋 スタジオ

講師：三上愛（染色造形作家）

内容：紙の組み合わせを考えて製本するか、ツリーや雪だるまなど季節にあった本を作るか選んでもらい制作を行った。クリスマスを感じさせる本が多数完成した。第3回の出張プログラムと本プログラムで作った本は、アーツ前橋交流スペース及びカフェと児童文化センターで展示した。（アーツ前橋展示期間：2017年12月7日－12月26日、児童文化センター展示期間：2018年1月6日－1月21日）

参加人数：27人

②「たんけんマップ」配布

日時：2017年11月26日（日）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

内容：アーツ前橋を自由に見て回る際のヒントやミッション（指令）が書かれた地図を配布した。ミッションをクリアした人は、クリスマスツリーを制作した。

③ウマくなくてもいいスタジオ

日時：2017年11月26日（日）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

講師：アーツ前橋サポーター

内容：定例の置いている素材や材料で自由に工作ができるスペースを設けた。「こどもアート探検」も実施した。

参加人数：81人

(5) あ一つひろば for U25 (「身体拡張2018 公園デビュー」関連企画)

①はじめての“演技”

日時：2018年2月3日（土）17時から19時まで

会場：アーツ前橋 地下ギャラリー

講師：坂川善樹（隆善舞台主宰）

内容：演技の基礎を学ぶワークショップを実施。途中、アーツ前橋近隣の高校生が多く参加し、公園デビューで公開稽古を行っているほかの劇団の様子を見学したり、隆善舞台の役者による模範演技が加わったりするなど、公園デビューならではのプログラムとなった。

参加人数：12人

②ウマくなくてもイイDJ

日時：2018年2月17日（土）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

講師：OKANIWA (DJ)

内容：参加者は大学生をはじめDJ初心者が多かったため、機材の接続や操作など基本的なレクチャーを交えながら、実際にレコードをかけて曲から曲をつなぐ体験をした。活発に質問も交わされ、参加者のこれからの音楽体験が深まるような時間となった。

参加人数：10人

(6) 第6回あ一つひろば

①紙とのりノリ♥ワールド

日時：2018年2月24日（日）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 スタジオ

講師：アーツ前橋サポーター、スタッフ

内容：展覧会に出品されていた平面作品をヒントに、様々な種類の紙とのりやボンドだけで創作体験に挑戦するプログラム。様々に工夫を凝らした作品が完成した。

②「アーツからの挑戦状」配布

日時：2018年2月24日（日）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

内容：「たんけんマップ」を改称。アーツ前橋を自由に見て回る際のヒントやミッション（指令）が書かれた地図を配布した。ミッションをクリアしたら、ボーナスステージとしてオリジナル缶バッジづくりを行った。

③ウマくなくてもいいスタジオ

日時：2018年2月24日（日）13時から17時まで

会場：アーツ前橋 交流スペース

講師：アーツ前橋サポーター

内容：定例の置いている素材や材料で自由に工作ができるスペースを設けた。「こどもアート探検」も実施した。

参加人数：のべ121人

□印刷物：

チラシ：A4判、各回1,000部、あ一つひろば for U25は30,000部

□担当：小田久美子、榎本浩子

Ⅲ-3 アーツナビゲーター

(1) アーツナビゲーター研修

対話による鑑賞プログラム「おしゃべりアートデイズ」で、ファシリテーションを行うボランティアを育成した。研修では対話による作品鑑賞の意義や、ファシリテーションの方法、作品や作家情報の調べ方、ガイドプランの作成を学んだ。研修を経て、アーツナビゲーターとして「おしゃべりアートデイズ」で来館者対応を行った。2013年から2016年までは、学校連携プログラム「おしゃべりアートツアー」で団体来館する児童を対象としていたが、2017年から展覧会会期中に一定期間を設けることで対象を広げて実施した。



□主催：前橋まちなか文化祭実行委員会・アーツ前橋

□助成：平成 29 年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

□講師：齊藤佳代、奈良のりえ、アーツ前橋学芸員

□印刷物

チラシ：A4 判、3,000 部

日付	曜日	時間	内容	講師／解説者	会場	参加者数
6月24日	土	10:30～16:00	オリエンテーション	学芸員	ギャラリー・スタジオ	15人
7月12日	水	10:30～16:00	基礎研修	齊藤佳代、学芸員	ギャラリー・スタジオ	15人
7月26日	水	10:30～16:00	基礎研修	齊藤佳代、学芸員	ギャラリー・スタジオ	15人
8月 9日	水	10:30～16:00	実践研修	齊藤佳代、学芸員	ギャラリー・スタジオ	14人
8月26日	水	10:30～16:00	実践研修	齊藤佳代、学芸員	ギャラリー・スタジオ	11人
9月13日	水	10:30～16:00	実践研修	齊藤佳代、学芸員	ギャラリー・スタジオ	16人
10月11日	水	10:30～16:00	ふりかえり	学芸員	ギャラリー・スタジオ	12人
11月22日	水	13:00～16:00	スキルアップ研修	奈良のりえ	スタジオ	8人
12月13日	水	13:00～16:30	コーチング	齊藤佳代、学芸員	ギャラリー・スタジオ	7人
12月14日	木	13:00～16:30	コーチング	齊藤佳代、学芸員	ギャラリー・スタジオ	6人
3月21日	水・祝	14:00～16:00	アートトリップの鑑賞プログラム見学	一般社団法人アーツアライブ認定アートコンダクター	ギャラリー、スタジオ	5名

(2) おしゃべりアートウィーク／デイズ

アーツナビゲーターと一緒に対話による作品鑑賞をおこなうプログラム。美術館を訪れた大人から子どもまで対象とし、誰でも参加できるようにした。1時間で3作品をじっくりと鑑賞し、感じたことや気づいたことを話して感想を共有することで、自分以外の人と一緒に鑑賞することの楽しさに気づいてもらうことを目的とした。

□主 催：アーツ前橋

日付	曜日	時間	展覧会	講師／ファシリテーター	会場	参加者数
9月18日	月	11:00～12:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	12人
9月18日	月	14:00～15:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	8人
9月19日	火	11:00～12:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	9人
9月19日	火	14:00～15:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	9人
9月21日	木	11:00～12:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	9人
9月21日	木	14:00～15:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	7人
9月22日	金	11:00～12:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	8人
9月22日	金	14:00～15:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	11人
9月23日	土	11:00～12:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	8人
9月23日	土	14:00～15:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	8人
9月24日	日	11:00～12:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	7人
9月24日	日	14:00～15:00	ヒツクリコ ガツクリコ展	アーツナビゲーター	ギャラリー	11人
5月10日	木	14:00～15:00	横堀角次郎と仲間たち展	アーツナビゲーター	地下ギャラリー	8人
5月11日	金	14:00～15:00	横堀角次郎と仲間たち展	アーツナビゲーター	地下ギャラリー	8人
5月12日	土	11:15～12:15	横堀角次郎と仲間たち展	アーツナビゲーター	地下ギャラリー	8人
5月13日	日	11:15～12:15	横堀角次郎と仲間たち展	アーツナビゲーター	地下ギャラリー	6人
5月13日	日	14:00～15:00	横堀角次郎と仲間たち展	アーツナビゲーター	地下ギャラリー	11人
5月14日	月	14:00～15:00	横堀角次郎と仲間たち展	アーツナビゲーター	地下ギャラリー	11人
5月15日	火	14:00～15:00	横堀角次郎と仲間たち展	アーツナビゲーター	地下ギャラリー	9人

(3) こどもアート探検

アーツ前橋のスタッフやアーツナビゲーターと一緒に、建物の中や開催中の展覧会をみんなで探検するプログラム。「あいつひろば」に合わせて開催した。

日付	曜日	時間	展覧会	担当者	会場	参加者数
6月25日	日	14:00～14:30	「コレクション」展	小田久美子、サポーター	交流スペース、ギャラリー	49人
8月19日	土	14:00～15:30	「コレクション+」展	小田久美子、サポーター	ギャラリー	18人
11月26日	日	14:00～14:30	「ヒツクリコガツクリコ」展	アーツ前橋サポーター	交流スペース	24人
2月24日	土	14:00～14:30	「彼女たちのまなざし」展	小田久美子	ギャラリー	22人
5月12日	土	15:30～16:00	「Art Meets 05」展	ナビゲーター	地下ギャラリー	17人



□担 当：辻瑞生、小田久美子

Ⅲ-4 学校教育との連携

(1) アーティスト・イン・スクール 住中浩史／山川冬樹／中島佑太

アーティストが前橋市内の学校へ出向き、ワークショップや授業を行った。アーティスト・イン・スクール2年目となる2017年度は中学校での開催、中長期にアーティストがかかわるプログラムを実施した。



□主 催：アーツ前橋

□事業コーディネート：NPO法人まえばしプロジェクト

□協 力：前橋市立第六中学校、前橋市立みずき中学校、前橋市立桃川小学校

□印刷物：

①報告書：A4判6ページ、巻三つ折り 3,000部

②記録映像：ダイジェスト版（5分）、各校の概要（10分）を3校分の合計3本

□内 容

①住中浩史×前橋市立第六中学校

日時：2017年10月12日（木）－ 10月31日（火）

ふりかえりの会：11月3日（金・祝）

会場：前橋市立第六中学校 少人数教室（前橋市総社町総社1762-1）

講師：住中浩史（アーティスト）

補助スタッフ：岡本麻衣、狩野未来、木暮萌、宮川沙織

内容：様々な表現を可能にするアイテムが沢山ある部屋「アーツ六中」を美術部の中学生たちと共に制作するプロジェクトを実施。アーティストは20日間の滞在制作を行い、天板が黒板のテーブル、キャンバス地の屏風、生徒が自主的に表現できる空間「カオスギャラリー」など、合計10アイテムを制作。10月31日の学習発表会で全校生徒や保護者にお披露目され、今後学校で活用されていく。

参加人数：美術部8人ほか

②山川冬樹×前橋市立みずき中学校

日時：2017年12月15日（金）13時40分から15時30分までの合計2コマ

会場：前橋市立みずき中学校 美術室（前橋市日吉町3丁目9-2）

講師：山川冬樹（アーティスト）

内容：3年4組の生徒を対象に、「ヒツクリコ ガツクリコ」展の参加アーティストである山川冬樹を派遣。音楽、舞台芸術、地理、テクノロジーの歴史など美術以外の領域まで広がる解説も交えながら、身体を使ったパフォーマンスの鑑賞や体験を行った。

参加人数：41人

③中島佑太×前橋市立桃川小学校

日時：2017年10月2日（月）－ 2018年3月19日（月）

会場：前橋市立桃川小学校 図工室（前橋市荒牧町514）

講師：中島佑太（アーティスト）

コーディネーター：春原史寛（群馬大学教育学部准教授）

内容：2016年度「表現の森」展のプロジェクトのひとつとして始まった中島佑太×南橋団地のプログラムの一環として、南橋団地の校区である桃川小学校の3年生から6年生の図工授業に補助教員として参加した。図工の授業の中で、うまくテーマを見つけ出して作業することが困難な生徒をサポートしたり、図工担当教諭の授業づくりに対してアーティストの視点からアドバイスをするなど、交流を深めた。

参加人数：3年生から6年生の全学級 302人

□主要関連記事：

朝日新聞 2017.11.7 芸術家×美術部 中学舞台に共作 前橋、美術館派遣事業

朝日ぐんま 2018.2.9 地域繚乱vol.81 学校の美術教育にアートの多様性をつなげる試み

□担 当：小田久美子、今井朋

（２）先生のための無料招待ウィーク

子どもたちとの繋ぎ手である教員を対象に、普段の授業づくりや団体来館の下見に役立ててもらうため、展覧会会期中の2週間実施した。

実施期間	展覧会名	参加者数
7月22日（土）－ 8月 6日（日）	コレクション＋ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ	20人
10月21日（土）－ 11月 5日（日）	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	8人

□担 当：小田久美子

Ⅲ-5 視察・見学

日付	曜日	時間	団体名	鑑覧者数
4月11日	火	14:00～	前橋市議会	16人
4月29日	土	13:40～	桐生大学短大部 アートデザイン学科	22人
5月10日	水	13:00～	アリスの広場	9人
5月19日	金	18:00～	近隣法人等ギャラリーツアー	7人
5月20日	土	12:00～	前橋国際大学 奥田研究室(社会文化心理学)	17人
5月20日	土	11:00～	桂萱公民館(地区体協・地域づくり協議会)	28人
5月28日	日	13:00～	桐生大学短大部 アートデザイン学科	22人
5月28日	日	14:00～	日本大学理工学部建築学科	55人
5月30日	火	17:30～	前橋工科大学部生	3人
7月25日	火	11:15～	みどり市立笠懸南中学校	15人
7月25日	火	19:00～	中心商店街関係者ガイドツアー	11人
7月27日	木	10:00～	金沢市文化施設課	2人
7月28日	金	14:00～	群馬県内秘書課	17人
8月 1日	火	11:00～	姫路市議会	7人
8月 8日	火	14:00～	ワンセルフかんら	38人
8月22日	火	16:00～	玉村町立南中学校	32人

日付	曜日	時間	団体名	鑑覧者数
8月25日	金	14:00～	前橋市議会	9人
9月 7日	水	18:00～	近隣法人等ギャラリーツアー	14人
9月10日	日	14:40～	日本大学生産工学部建築工学科広田研究室	27人
9月22日	金	10:30～	中央公民館（お母さんのほっと子育て教室）	15人
9月25日	月	14:20～	マスコミ旅行会社前橋現地視察会	17人
10月20日	金	11:20～	前橋ボランティア連絡会	27人
10月24日	火	19:00～	中心商店街関係者ガイドツアー	11人
11月 7日	火	11:00～	渋川市立北橋中学校	43人
11月10日	金	14:00～	前橋商工会議所観光振興大会2017 in前橋 エクスカーション	16人
11月16日	木	14:00～	武蔵野大学 水谷俊博研究室	7人
11月17日	金	16:30～	国土交通省関東地方整備局	13人
11月21日	火	16:25～	北関東・新潟地域連携軸地域づくり研修	35人
11月28日	火	11:00～	清心幼稚園	22人
12月 2日	土	13:00～	桐生大学短大部 アートデザイン学科	16人
12月 9日	土	13:00～	桐生大学短大部 アートデザイン学科	6人
12月12日	火	11:00～	群馬大学教育学部美術教育講座	7人
12月19日	火	16:00～	群馬大学教育学部美術教育講座	7人
1月 6日	土	14:00～	EN（沼津市）	12人
1月11日	木	18:00～	近隣法人等ギャラリーツアー	8人
1月13日	土	13:00～	ワンセルフかんら	40人
1月14日	日	14:00～	新島短期大学	2人
2月 2日	金	13:00～	群馬大学附属特別支援学校	8人
3月27日	火	11:15～	清心幼稚園	30人
3月27日	火	19:00～	中心商店街関係者ガイドツアー	8人

Ⅲ-6 インターンシップ

日付	参加大学	人数
8月17日（木）－ 8月23日（水）	東京大学	2人
8月24日（木）－ 8月31日（木）	東京藝術大学	2人
8月28日（月）－ 9月 1日（金）	前橋工科大学	1人
8月28日（月）－ 9月 1日（金）	前橋国際大学	1人
11月20日（月）－ 1月29日（月）	前橋国際大学	1人

Ⅲ-7 サポーター活動記録

□登録者数：52名(2018年3月31日時点)

日付・曜日	内 容
4月 7日(金)	アーカイヴ整備
4月11日(火)	アーカイヴ整備
4月13日(木)	広報物発送作業
4月14日(金)	広報物発送作業
4月15日(土)	竹取り作業
4月15日(土)	クッションカバー制作
4月24日(月)	広報物発送作業
4月25日(火)	アーカイヴ整備
4月30日(日)	クッションカバー制作
5月 5日(金)	日光写真ワークショップ サポート
5月 7日(日)	サポーター登録説明会事前打ち合わせ
5月 9日(火)	アーカイヴ整備
5月19日(金)	アーカイヴ整備
5月21日(日)	こどもアート探検
5月23日(火)	アーカイヴ整備
5月27日(土)	サポーター登録説明会
6月 2日(金)	広報物発送作業
6月 6日(火)	アーカイヴ整備
6月16日(金)	アーカイヴ整備
6月20日(火)	アーカイヴ整備
6月25日(日)	あーつひろば
6月25日(日)	こどもアート探検
6月27日(火)	七夕飾り制作補助
6月29日(木)	七夕飾り制作補助
6月30日(金)	アーカイヴ整備
7月 4日(火)	広報物発送作業
7月 5日(水)	広報物発送作業
7月 6日(木)	広報物発送作業
7月11日(火)	広報物発送作業
7月14日(金)	アーカイヴ整備
7月22日(土)	堅町オープンスタジオ受付
7月23日(日)	堅町オープンスタジオ受付
7月28日(金)	アーカイヴ整備
7月30日(日)	あーつひろばを考える会
8月 5日(土)	バックヤードツアー前半
8月19日(土)	あーつひろば
8月19日(土)	こどもアート探検
8月22日(火)	広報物発送作業
8月23日(水)	広報物発送作業
8月24日(木)	広報物発送作業
8月25日(金)	広報物発送作業
10月 1日(日)	「荒井良二と作る展覧会！」サポート
10月 6日(金)	アーカイヴ整備
10月10日(火)	広報物発送作業
10月24日(火)	アーカイヴ整備

日付・曜日	内 容
10月31日(火)	広報物発送作業
11月 1日(水)	広報物発送作業
11月 2日(木)	広報物発送作業
11月 2日(木)	「駅家の木馬祭り」踊り事前練習
11月 5日(日)	「駅家の木馬祭り」サポート
11月10日(金)	アーカイヴ整備
11月11日(土)	出張あーつひろば事前レクチャー
11月18日(土)	出張あーつひろば
11月21日(火)	アーカイヴ整備
11月23日(木)	出張あーつひろば
11月24日(金)	あーつひろば準備
11月26日(日)	あーつひろば
11月26日(日)	こどもアート探検
11月28日(火)	アーカイヴ整備
12月 2日(土)	「山川冬樹パフォーマンス・対談」サポート
12月 5日(火)	アーカイヴ整備
12月 7日(木)	アーカイヴ整備
12月 8日(金)	アーカイヴ整備
12月 9日(土)	「かくとはなす」サポート
12月11日(月)	アーカイヴ整備
12月16日(土)	芽部イベント 河野聡子さん朗読会＋ツアー
12月21日(木)	広報物発送作業
12月22日(金)	広報物発送作業
12月24日(日)	芽部イベント 荒井良二さんクリスマス会 サポート
1月12日(金)	アーカイヴ整備
1月13日(土)	堅町オープンスタジオ受付
1月14日(日)	堅町オープンスタジオ受付
1月18日(木)	広報物発送作業
1月19日(金)	広報物発送作業
1月26日(金)	アーカイヴ整備
1月30日(火)	アーカイヴ整備
2月 5日(月)	広報物発送作業
2月 6日(火)	広報物発送作業
2月 7日(水)	広報物発送作業
2月16日(金)	アーカイヴ整備
2月21日(水)	広報物発送作業
2月22日(木)	広報物発送作業
2月24日(土)	あーつひろば
2月24日(土)	こどもアート探検
3月 2日(金)	アーカイヴ整備
3月17日(土)	サポーター活動振り返り
3月20日(火)	アーカイヴ整備
3月30日(金)	アーカイヴ整備

Ⅲ-8 メンバーシップ（2018年3月31現在）

（１）会員数

一般会員：83人（男48人、女35人／県内81人、県外2人）

ペア会員：21組

賛助会員：0人

法人会員：20社

（２）会員対象事業

「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」を満喫する1日

□日時：2017年12月9日（土）9時50分から13時30分まで

□料金：①アーツ前橋メンバーシップ会員 500円

□内容：アーツ前橋・前橋文学館の共同企画展「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」の萩原・住友両館長による解説付きの鑑賞会と、ROBSON COFFEEアーツ前橋店でスペシャルランチを味わうツアーを実施した。前橋文学館に集合し、萩原朔太郎記念館や千代田通りに掲げられたフラッグプロジェクトを見ながらアーツ前橋へ移動。ランチは地元の野菜を中心にした特別メニューが提供された。食卓を囲んで両館長、担当学芸員とともに会員相互の親交を深める場となった。

□参加人数：メンバーシップ会員11人

（３）会報

vol.6 2017年9月発行

vol.7 2018年1月発行

IV その他

IV-1 前橋めぶくフェス アート部門

2014年から2016年まで街中を中心に開催した「前橋まちなか文化祭（通称：まちフェス）」は文化芸術活動を行う団体を対象とした公募型の文化祭として、50を超える団体を支援してきた。2017年度より対外的な発信力やさらなるクオリティの向上を目的とし、新たに「前橋めぶくフェス」の「アート部門」という位置づけで夏と秋の2回実施した。



（１）前橋めぶくフェス 6/25

- 会 期：2017年6月25日（日）12時から20時まで
- 会 場：中央イベント広場（千代田町2丁目8-21）
及び中央通り商店街アーケード
- 主 催：前橋めぶくフェス実行委員会
- 総来場者数：10,000人（アート部門来場者数不詳）
- 印刷物：

- ①チラシ：2,000部
- ②ポスター：10部
- ③パンフレット：500部

- 参加団体、事業内容等：

①ギブ・ミー・ベジタブル

日時：12時から14時30分まで

会場：前橋中央イベント広場ステージ（前橋市千代田町2丁目8-21）

事業内容：入場料として持ってきた食料をその場で即興調理し、料理人やアーティストの出演料が野菜の食と音楽のイベントを開催した。

②ギャラリーアートスープ

事業名：めぶく。展

日時：12時から20時まで

会場：ギャラリーアートスープ（前橋市本町2丁目1-6）

事業内容：めぶくをテーマにした展示を行った。

③Maebashi Works

事業名：映像スナック・サワコ

日時：12時から20時まで

会場：Maebashi Works（前橋市千代田町2丁目7-17）

事業内容：映像作品の上映とパフォーマンスを開催した。



(2) 前橋めぶくフェス 11/3-11/5

□会 期：2017年11月3日（金）－ 11月5日（日）

□会 場：中央イベント広場及び中央通り商店街アーケード

□主 催：前橋めぶくフェス実行委員会

□総来場者数：27,000人（アート部門来場者数2,865人）

□印刷物：

①チラシ：2,000部

②ポスター：10部

③パンフレット（総合版）：500部

④パンフレット（アート部門）：800部

□参加団体、事業内容等：

①Catur Swari

事業名：「スカル・ジュブン」バリガムラン公演

日時：11月4日（土）17時から18時まで

会場：煥乎堂ホール（前橋市本町1丁目2-13）

事業内容：東京都より招聘したバリガムラングループによる公演を開催した。

②Lively

事業名：朗読コンサート～星野富弘の想い～

日時：11月2日（木）13時から14時45分まで、3日（金）10時から11時45分まで、
13時から15時半まで

会場：煥乎堂ホール

事業内容：星野富弘作品の朗読ワークショップとコンサートを開催した。

③Maebashi Works

事業名：Maebashi Works Open Studio 2017

日時：10月21日（土）－11月5日（日）※土日祝のみ 12時から19時まで

会場：Maebashi Works

事業内容：前橋を中心に、多岐にわたる活動を行うメンバーによる展示を行った。

④Mouthfeel of R

事業名：Mouthfeel of R vol.10 feat. 小林大吾

日時：11月4日（土）19時から23時まで

会場：ROBSON COFFEEアーツ前橋店

事業内容：DJに加え、詩人の小林大吾によるライブパフォーマンスを実施した。

⑤上州文化ラボ

事業名：音楽で振り返る いとのまち 前橋

日時：11月5日（日）18時から19時半まで

会場：ROBSON COFFEEアーツ前橋店

事業内容：音楽を中心に「いとのまち 前橋」を振り返る企画を開催した。

⑥ya-gins

事業名：ya-gins vol.24 伊藤存「土、樹皮、毛糸、映像など 変化」

日時：9月30日（土）－11月5日（日）※金土日のみ 13時から20時まで

会場：ya-gins（前橋市本町1丁目2-13）

事業内容：アーティスト伊藤存による展示を行った。

⑦ぐんまアイデアソン・ハッカソン2017実行委員会

事業名：ぐんまアイデアソン・ハッカソン2017

日時：11月4日（土）、5日（日）10時から18時まで

会場：コワーキングスペース・田舎（前橋市千代田町5丁目13-9）

事業内容：スクラッチというプログラミングツールを使ってゲームやアニメを作るイベントを開催した。

⑧Studio Maruco -スタジオマルコー

事業名：楽器を作ってみんなで鳴らそう！「オトバコ」

日時：11月4日（土）15時から17時まで、5日（日）14時から16時まで

会場：前橋まちなか研究室（前橋市本町1丁目2-8）

事業内容：小さな木琴を作るワークショップ、完成後はステージにて演奏を行った。

⑨ちょこ工房

事業名：こころのコンパスをつくる

日時：11月3日（金）13時から15時まで

会場：前橋“市民”ギャラリー（前橋市本町2丁目12-7）

事業内容：アーティストの八木隆行によるワークショップを開催した。

⑩舞踏団 トンデ空静

事業名：ジャンボ・カナシミ・ジャンボ

日時：11月4日（土）、5日（日）13時から14時まで

会場：オリオン通り商店街

事業内容：珍妙踊りや発電ボールダンスなどのパフォーマンスをアーケードを舞台に開催した。

⑪ハラサワコレクション

事業名：ハラサワコレクションvol.6 明治生まれの群馬の画家展Ⅱ

日時：10月28日（土）－ 11月12日（日）（10月30日、11月6日は休み）10時から17時まで

会場：広瀬川美術館（前橋市千代田町3丁目3-10）

事業内容：明治生まれの郷土作家の作品を展示した。

⑫Sugar rich

事業名：SEED

日時：11月4日（土）15時から22時まで

会場：前橋市弁天シェアハウス（前橋市千代田町3丁目4-7）

事業内容：音楽ライブを開催した。

⑬白い人たち

事業名：白い人たち

日時：11月4日（土）16時から16時20分まで、18時半から18時50分まで、5日（日）11時40分から12時まで、13時30分から13時50分まで

会場：中央通り商店街十字路

事業内容：白い人たちによるパフォーマンスを開催した。

⑭山賀ざくろ企画

事業名：音楽とダンスの即興セッション／親子で楽しむ即興体験ワークショップ

日時：11月3日（金）11時から13時まで、17時から18時まで

会場：前橋市芸術文化れんが蔵（前橋市三河町1丁目16-27）

事業内容：石坂玄士と上野賢治、広末知沙、山賀ざくろによる即興とセッションとワークショップを開催した。

⑮芽部

事業名：前橋ネコフェス2017

日時：10月29日（日）－ 11月12日（日）

会場：前橋文学館（前橋市千代田町3丁目12-10）

萩原朔太郎記念館（前橋市城東町1丁目2-19）

前橋こども図書館（前橋市本町2丁目12-1）

事業内容：まちなか全体を使い、2週間にわたり様々なイベントや展示を行った。

⑯おもちゃと人形の専門店 黒田人形

事業名：誰でもみんなアーティスト！Picassoになろう！みんなの“ピカソ”が踊りだす！

日時：11月5日（日）10時半から12時まで、13時から15時まで
会場：まちなかサロン（前橋市千代田町2丁目11-1 鈴木ストアビル1階）
事業内容：ピカソにインスピレーションを得たイタリアのアート遊びを楽しむ講義とワークショップを開催した。

⑰前橋むーびー部

事業名：めぶく。一日映画祭
日時：11月4日（土）13時から18時まで
会場：シネマまえばし（前橋市千代田町5丁目1-16 3F）
事業内容：「めぶく」をテーマに「一日映画祭」を開催した。

⑱MAEBASHI COLLECTION

事業名：MEABASHI COLLECTION
日時：11月5日（日）17時から17時30分まで
会場：中央通り商店街
事業内容：商店街を舞台にファッションショーを開催した。

⑲ギャラリーアーツープ

事業名：「めぶく。」アーツープ企画
日時：10月27日（金）－11月5日（日）11時から19時まで
会場：ギャラリーアーツープ、前橋まちなか音楽館（前橋市千代田町2丁目10-1）、
ティーストアー（前橋市本町2丁目8-9）、商店街内各所
事業内容：展示やワークショップ、コンテスト、ライブペイントなどを開催した。

□担当：五十嵐純

IV-2 身体 of 芸術推進実行委員会

(フィジカル・センセーション／身体拡張2018 公園デビュー)

平成28年度に開催した「身体拡張ラボ」参加者を中心に身体 of 芸術推進実行委員会を設立し、より広く身体表現に接してもらうことを目的として、11月には中央イベント広場でのサーカスパフォーマンスを中心とした「フィジカル・センセーション」を開催した。また2月に行われた「身体拡張2018 公園デビュー」では、身体表現の可能性を拡大し、誰もが表現者として存在できる場づくりをテーマに、アーツ前橋の地下ギャラリーを「公園」として開放して、自由な表現の場を作った。誰もが表現者となり、表現者どうしが繋がり、刺激しあい、また異なる表現へと「デビュー」できるような空間を作り出し、各週末に開催された様々なイベントやワークショップは多くの参加者を集めた。



(1) フィジカル・センセーション

- 会 期：2017年11月4日（土）、5日（日）
- 時 間：11月4日（土）11時から19時まで、5日（日）11時から17時まで
- 会 場：中央イベント広場ステージ／前橋中心市街地各所
- 観覧料：無料
- 主 催：身体 of 芸術推進実行委員会
- 出 演：前橋商業高校吹奏楽部、Catur Swari、白い人たち、舞踏団トンデ空静、沢入国際サーカス学校、ムンドノーボぽこブヨ〜ダン

(2) 身体拡張2018 公園デビュー

- 会 期：2018年2月2日（金）、3日（土）、4日（日）、8日（木）、9日（金）、10日（土）、11日（日）、12日（月・祝）、15日（木）、16日（金）、17日（土）、18日（日）
- 開館時間：11時から19時まで
- 休 館 日：2月12日（月・祝）を除く月・火・水曜日
- 会 場：アーツ前橋 地下ギャラリー
- 観 覧 料：一般 全日程フリーパス1,800円、1日フリーパス1,000円／学生・65歳以上・団体（10名以上） 全日程フリーパス1,000円、1日フリーパス600円／高校生以下無料、障害者手帳等をお持ちの方と介護者1名は無料、木・金曜日は無料開放日

- 主 催：身体 of 芸術推進実行委員会
- 共 催：アーツ前橋
- 協 力：清水保彦、津田等
- 出 演：秋福音、アビシェイカー、荒井正人、新井隆人、荒木聡志、石坂玄士、今貂子、大日向基子、桐生大学短期大学部学生・卒業生、國崎理嘉、郡司厚太、小出和彦、小暮香帆、酒井一有、坂川善樹、佐藤あつし、白川昌生、鈴木伸一、絶望グロテスク、創作ダンスひまわり会、月映、てあしくちびる、内藤奈美、中村ひろみ、西原尚、にれいとしゆき、灰野敬二、灰ホトラ、ぴったと仲間たち、ファインフィットインストラクター、福西みゆき、前橋ユウレー、ミュージカルユニットcabo、武藤大祐、村田桂吾、村田峰紀、山賀ざくろ、ラブリー恩田、和合亮一、Abe “M” ARIA、carry音、KPC、kuku、MJOG踊る会、OKANIWA、OMEGA POINT、Rinn ほか
- 総来場者数：1,791人
- 印刷物：
- ①ポスター：1,000部
- ②チラシ：20,000部
- 主要関連記事：
- 読売新聞 2018.1.20 身体表現に焦点 前橋でイベント来月2～18日
- 上毛新聞 2018.2.9 詩の朗読や演劇 アーツ前橋で50組が日替わり披露
- 関連イベント：
- ①中村ひろみ ひとり芝居『初恋橋』への途(みち)
- 日時：2月2日(金)11時から19時まで、2月3日(土)17時から19時まで、2月4日(日)13時から17時まで、2月8日(木)11時から19時まで、2月9日(金)14時40分から16時まで、2月11日(日)14時40分から16時まで、2月12日(月・祝)13時から16時40分まで、2月15日(木)11時から16時まで、2月17日(土)17時から19時まで、2月18日(日)13時から16時まで
- 会場：ギャラリー0やプロムナードを含むギャラリー内各所
- 内容：「初恋橋」公開稽古から通し稽古を行い、身体と空間が徐々に演劇化する過程を可視化した。
- ②オープニングイベント
- 日時：2月2日(金)19時から21時まで
- 会場：ROBSON COFFEEアーツ前橋店
- 内容：関係者が一堂に会したオープニングイベントを開催した。
- 参加人数：70人
- ③「寿歌(ほぎうた)」 隆善舞台 公開稽古
- 日時：2月3日(土)、4日(日)、2月10日(土)、11日(日)、12日(月・祝)
- 会場：ギャラリー内各所
- 内容：隆善舞台による小劇場演劇の名作「寿歌」(作：北村想)の公開稽古を行った。
- ④ダンスワークショップ「即興ダンス入門～対話するように踊る～」
- 日時：2月3日(土)11時から13時まで、4日(日)11時から13時まで、10日(土)11時から13時まで
- 会場：ギャラリー6
- 内容：対面する相手の呼吸や身体の動きに同期したり委ねたりすることから始めるワークショップを開催した。
- ⑤daytime music
- 日時：2月3日(土)11時半から12時30分まで、4日(日)11時半から12時30分まで
- 会場：ギャラリー2
- 内容：公園のお昼、2日間にわたって開催された4組4様の音楽ライブを開催した。

-
- ⑥内藤奈美ソロダンスパフォーマンス
日時：2月3日（土）13時から13時30分まで
会場：ギャラリー2
内容：ポエトリーリーディングとコンテンポラリーダンスを組み合わせたパフォーマンスを行った。
- ⑦和合亮一 朗読とトーク「こころはからだ」
日時：2月3日（土）14時40分から16時30分まで
会場：ギャラリー2
内容：東日本大震災後、ツイッターで『詩の礫』を発表し、福島県から発信を続ける和合亮一の朗読とトークを行った。
参加人数：45人
- ⑧オープンマイク in アーツ前橋
日時：2月4日（日）13時から15時まで
会場：ギャラリー2
内容：音楽、ダンス、演劇、コント、パフォーマンスなど、自由な表現の場を提供した。
参加人数：8組
- ⑨公園セッション
日時：2月4日（日）15時から17時まで、11日（日）15時から17時まで、18日（日）16時30分から18時30分まで
会場：ギャラリー2
内容：毎週日曜日に即興セッションを行った。
- ⑩パフォーマンス 白い人たち
日時：2月4日（日）15時から16時まで、17日（土）16時から17時まで、2月18日（日）16時30分から18時30分まで
会場：ギャラリー全体
内容：白い人たちがバスガイドのダンサーや音楽隊とユーモラスに戯れ、地下ギャラリーを漂うパフォーマンスを行った。
- ⑪灰ホトラ 第11回公演「プロペラブランコ」ろくゆれめ
日時：2月4日（日）17時から18時30分まで、10日（土）17時から18時30分まで
会場：ギャラリー2
内容：脚本、演出、音楽、広報デザインと俳優以外のすべてをこなす荒木聡志の演劇ユニット「灰ホトラ」による連作シリーズ新作を発表した。
- ⑫談話室 荒井 第一夜／第二夜
日時：2月8日（木）19時から20時30分まで、15日（木）19時から20時30分まで
会場：ROBSON COFFEEアーツ前橋店
内容：70年代、80年代の演劇を見続けた共愛学園高校教諭の荒井正人による連続講義を行った。
参加人数：45人
- ⑬中村ひろみ ひとり芝居『初恋橋』
日時：2月9日（金）、11日（日）、12日（月・祝）、15日（木）17時から18時15分まで、18日（日）17時50分から18時40分まで
会場：ギャラリー0
内容：石山幸弘が中村ひろみのために書き下ろした戯曲の初上演を行った。
参加人数：100人
- ⑭灰野敬二 ライブパフォーマンス
日時：2月10日（土）14時30分から16時まで
会場：ギャラリー2

内容：「静寂」をはじめとした多数のグループ、他ジャンルとのコラボレーションなどを行う灰野敬二によるライブパフォーマンスを行った。

参加人数：90人

⑮ 演劇のインプロヴィゼーション

日時：2月10日（土）15時半から17時まで

会場：ギャラリー5

内容：インプロ（即興劇）を通じてコミュニケーションや表現を楽しむワークショップを開催した。

⑯ 親子で体験ワークショップ

日時：2月11日（日）11時30分から12時30分まで

会場：ギャラリー2

内容：打楽器を叩いて音を出したり、リズムに合わせて踊ってみたり、自由にからだであそぶ身体感覚を親子で体験するワークショップを開催した。

⑰ パフォーマンス「村田峰紀×村田桂吾」

日時：2月11日（日）13時30分から14時30分まで

会場：ギャラリー2

内容：実の兄弟の村田桂吾と村田峰紀による音楽と身体のパフォーマンスイベントを開催した。

⑱ ダンスパフォーマンス～『透明な感じあい』～サティと踊る山頭火、他・・・

日時：2月11日（日）17時から18時30分まで

会場：ギャラリー6

内容：「創作ダンスひまわり会」と「MJOG踊る会」によるダンスパフォーマンスを開催した。

⑲ アーツ前橋で公園デビューした人たちのフォーラム

日時：2月12日（月・祝）11時から13時まで

会場：ギャラリー2

内容：「公園デビュー」に参加した人たち、出会った人たちそれぞれの表現活動や今後の展望についての語り合うフォーラムを開催した。

⑳ 月映TSUKUHAE ライブ

日時：2月12日（月・祝）13時から13時30分まで

会場：ギャラリー6

内容：詩人新井隆人と、ミュージシャンcarry音によるユニット「月映TSUKUHAE」によるライブパフォーマンスを開催した。

㉑ ラストポエトリーリーディング「ラストエンペラー（The Last Emperor）」

日時：2月12日（月・祝）13時30分から14時30分まで

会場：ギャラリー2

内容：酒井一有によるポエトリーリーディングを開催した。

㉒ サウンドパフォーマンス

日時：2月12日（月・祝）15時半から16時半まで

会場：ギャラリー2、6

内容：音を主軸に美術制作とパフォーマンスを行う西原尚と、身体を主軸にしたパフォーマンスを行う村田峰紀とのコラボレーションパフォーマンスを開催した。

㉓ シンポジウム「身体拡張2018」

日時：2月12日（月・祝）17時から18時30分まで

会場：ギャラリー2

内容：美術、哲学、舞踊など様々な視座から身体拡張の可能性について考察するシンポジウムを開催した。

②④アバンギャルズ2018 山賀ざくろセレクション

日時：2月16日（金）15時から19時まで、17日（土）11時から12時30分まで、13時から、15時30分まで、15時30分から16時まで

会場：ギャラリー6

内容：Abe “M” ARIA、舞踏の今貂子、クラウンのラブリー恩田らが出演したパフォーマンスを開催した。

②⑤舞踏体験ワークショップ

日時：2月18日（日）11時15分から12時30分まで

会場：ギャラリー5

内容：呼吸法、和の身体技法をとりいれた今貂子の舞踏メソッドを中心とした舞踏の基礎を学ぶ初心者向けのワークショップを開催した。

②⑥ミュージカルユニットcabo 単独パフォーマンス

日時：2月18日（日）12時30分から13時まで、16時から16時30分まで

会場：ギャラリー4

内容：『寄席カボ』を上演した。

②⑦軋轢オーケストラ

日時：2月18日（日）13時から16時まで

会場：ギャラリー2、6

内容：前橋周辺の民族音楽、ノイズ、セッション系ミュージシャンが一堂に会し、フリーセッションを展開した。

②⑧「not body, からだのない」

日時：17時から19時まで（平日）／13時から19時まで（土日祝）

会場：地下ギャラリー内

内容：ラジオを手に、会場内に流れる声を聴いて歩く体験を提供した。

参加人数：47人

□担当：五十嵐純

IV-3 まちなか文化施設研究

大正10年に創業し、詩人の高橋元吉が社長を務めた書店「煥乎堂」の歴史調査を行った。美術、文学、音楽などの芸術振興の拠点であるが、活動記録が残されていないため、1960年頃から2000年頃までの同書店の文化活動が残されている資料を、引き続き調査し、前橋文化年表を編集する。

紙媒体資料およびビデオテープ、音声テープの保存整理、煥乎堂文化事業についての年表作成を行い、平成29年度の研究紀要で発表した。また、前橋文化年表の更新を行った。

□委託期間：2017年4月18日（火）から2018年3月15日（木）

□調査委託：染谷滋

□調査内容：「煥乎堂ギャラリー全記録」の更新

岡田芳保氏への聞き取り調査

新聞掲載記事より煥乎堂関係資料の収集

鈴木ストア画廊の記録のまとめ

その他、前橋市内における美術活動の調査

V 所蔵資料

V-1 美術作品

(1) 所蔵状況 2017年度収蔵作品 (2017年4月1日－2018年3月31日)

	26年度 以前	27年度	28年度	29年度				合計
				購入	寄贈	移管	小計	
1 絵画	449	2	23	3	7	35	45	519
2 水彩・素描・下図	62	1			1		1	64
3 版画	4						0	4
4 写真			38	9			9	47
5 彫刻・立体ほか	7	3	3	3	3		6	19
6 メディアアート	1	2			2		2	5
7 工芸		3			3		3	6
8 書	32			3	4		7	39
	555	11	64	18	20		73	703

(2-1) 2017年度購入・寄贈作品

作者名	作品名	制作年	初出品展覧会	寸法 (縦×横、高さ× 幅×奥行) cm	材質・技法	区分	寄贈者
大澤雅休	がぁんびやん	1951年頃	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	18.5×20.2cm	紙本墨書	購入	——
大澤雅休	やややややややぶはっ	1951年	「生誕100年大沢雅休展」(1990 群馬県立近代美術館 群馬)	17.0×44.0cm	紙本墨書	購入	——
大澤竹胎	いにしへにありけむ人の	不詳	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	15×38.2cm	紙本墨書	購入	——
幸田千依	水路はつづくよどこまでも	2014年	「地域アートプロジェクト報告展〈磯部湯活用プロジェクト〉伊藤存、幸田千依」(2014 アーツ前橋 群馬)	194×324cm	カンバス、アクリル、油彩	購入	——
下山直紀	一連の単なる愛の理を明瞭に錯雑に 注釈抜きで余人に示す	2016年	「一連の単なる愛の理を明瞭に錯雑に注釈抜きで余人に示す」 (2016 Heart Beat Gallery 東京)	95×54×160cm	樟	購入	——
鈴木ヒラク	Constellation #19	2017年	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	270×1100cm	カンバス、シルバーク、土、 アクリル、墨汁	購入	——
鈴木ヒラク	Constellation #17	2017年	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	139.5×210cm	紙、シルバーク、墨汁	購入	——
長 重之	ピックポケット68	1968年	「長重之個展」(1968 村松画廊 東京)	232×185×20cm	綿布、木、ロープ	購入	——
風景と食設計室ホー	見えない神さまー粕川の 祈りとたべもの	2016-2018年	「フードスケープ 私たちは食べ物でできている」 (2016 アーツ前橋 群馬)	サイズ可変	ドキュメント冊子、映像2点、お膳一式、 ツアー配布物、行事絵巻	購入	——
ワブケ・フェンストラ	ハンズ・オン(マンゴールド)	2008年	「EXPO 08」(2008 ウォーターパーク サラゴサ スペイン)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
ワブケ・フェンストラ	ハンズ・オン(羊毛)	2010年	「PIT/Z-OUT」(2011 Z33 house for contemporary art ハッセルト ベルギー)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
ワブケ・フェンストラ	ハンズ・オン(アップルカット)	2010年	「PIT/Z-OUT」(2011 Z33 house for contemporary art ハッセルト ベルギー)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
ワブケ・フェンストラ	ハンズ・オン(ノラニンジン)	2010年	「PIT/Z-OUT」(2011 Z33 house for contemporary art ハッセルト ベルギー)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
ワブケ・フェンストラ	ハンズ・オン(梨)	2016年	「フードスケープ 私たちは食べ物でできている」 (2016 アーツ前橋 群馬)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——

作者名	作品名	制作年	初出品展覧会	寸法(縦×横×高さ×奥行) cm	材質・技法	区分	寄贈者
ワケ・フェンストラ	ハンズ・オン(米)	2016年	「フードスケープ 私たちは食べ物でできている」 (2016 アーツ前橋 群馬)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
ワケ・フェンストラ	ハンズ・オン(ブロッコリー)	2016年	「フードスケープ 私たちは食べ物でできている」 (2016 アーツ前橋 群馬)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
ワケ・フェンストラ	ハンズ・オン(山羊)	2016年	「フードスケープ 私たちは食べ物でできている」 (2016 アーツ前橋 群馬)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
ワケ・フェンストラ	ハンズ・オン(茄子)	2016年	「フードスケープ 私たちは食べ物でできている」 (2016 アーツ前橋 群馬)	62×90×3cm	アルミ複合板にインクジェットプリント	購入	——
大澤雅休	ささのはゝ	1950年頃	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	88.9×93.2cm	紙本墨書	寄贈	高橋朋紳氏
大澤雅休	虚空無邊	1951年頃	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	132.8×65.1cm	紙本墨書	寄贈	高橋朋紳氏
大澤雅休	華下草上	不詳	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	142×33.5cm	紙本墨書	寄贈	作者
大澤竹胎	いにしへにありけむ人の	不詳	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」(2017 アーツ前橋 群馬)	13×22.1cm	紙本墨書	寄贈	作者
加藤アキラ	青の中の目	1965年	「第1回群馬アンデパンダン展」(1965 群馬県スポーツセンター 群馬)	162.3×130.3cm	カンバス、油彩	寄贈	作者
加藤アキラ	シェイプド・カンバスによる 立体化—皮膚(SKIN)A/B	1967年	「第5回あすなろ美術サロン COFFEE 袋を造作する」 (1967 名曲茶房あすなろ 群馬)	92×75×20cm 75×75×20cm	麻袋、塗料	寄贈	作者
加藤アキラ	EG-300	1968年	「変わったヤツラの群馬 NOMO グループ連続個展〜 第1週加藤アキラ「視覚」における触覚メッセージ」 (1968 スルガ台画廊 東京)	73×100×7cm	アルミニウム、ボルト、ナット	寄贈	作者
金子英彦	資料一式…(おくびょうもの) シリーズのためのドローイング、 エスキースほか金子による メモなど 15点	1965年頃〜		——	紙、ペン	寄贈	竹内嘉一氏
金子英彦	壁面のためのパネル作品 IV-1〜4(4点1組)	1987年		各89×90cm	板、水性絵具	寄贈	竹内嘉一氏
金子英彦	壁面のためのパネル作品 6-1〜6(6点1組)	1987年		各60×59.4cm	板、水性絵具	寄贈	竹内嘉一氏
幸田千依	あっちの水	2013年	「地域アートプロジェクト報告展(磯部湯活用プロジェクト) 伊藤存、幸田千依」(2014 アーツ前橋 群馬)	61×61cm	カンバス、アクリル、油彩	寄贈	作者
幸田千依	こっちの人々	2013年	「地域アートプロジェクト報告展(磯部湯活用プロジェクト) 伊藤存、幸田千依」(2014 アーツ前橋 群馬)	91×116.7cm	カンバス、アクリル、油彩	寄贈	作者
幸田千依	いつもの朝	2013年	「地域アートプロジェクト報告展(磯部湯活用プロジェクト) 伊藤存、幸田千依」(2014 アーツ前橋 群馬)	72.7×60.6cm	カンバス、アクリル、油彩	寄贈	作者
鈴木ヒラク	GENGA #001-#1000(video)	2010年	「愛についての100の物語」(2009 金沢21世紀美術館 石川)	——	シングルチャンネルビデオ	寄贈	作者
高畑早苗	危険と歓楽の夜	1982年	「Puffs from Passing Incarnations」 (過ぎ行く化身からのひと吹き風) (1982 ゾマギャラリー ニューヨーク アメリカ)	91×116.7cm	カンバス、油彩	寄贈	Ms.Margo C.McKinnon Mr.Thomas M Cohen
平尾峰春	象嵌大鉢	1988年頃	平尾峰春作陶展(1988 画廊ポビー 群馬)	13.2×43×43cm	陶、象嵌	寄贈	作者
平尾峰春	砂の記	2009年	第60回群馬県美術展(2009 群馬県立近代美術館 群馬)	9.5×35× 38.5cm	陶、練り上げ	寄贈	作者
平尾峰春	辻	2009年	第39回全陶展(2009 東京都美術館 東京)	26.5×32.2× 32.2cm	陶、練り上げ	寄贈	作者
ワケ・フェンストラ	農場主たちと牧場主たち	2015年	個展「農場主たちと牧場主たち」 (2014-2015 フリース美術館 レーワルデン オランダ)	26分4秒	映像	寄贈	作者
ワケ・フェンストラ	農場主たちと牧場主たち	2015年	個展「農場主たちと牧場主たち」 (2014-2015 フリース美術館 レーワルデン オランダ)	女性Sサイズ	Tシャツ	寄贈	作者

(2-2) 2017年度所属替え作品

作者名	作品名	制作年	初出品展覧会	寸法(縦×横、高さ×幅×奥行) cm	材質・技法	区分
横堀角次郎	赤城山	1959年		60.7×91.0cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	遊蝶花	1972年		38.0×45.5cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	豊穣	1946年		23.8×32.8cm	板、油彩	所属替
横堀角次郎	人物習作	1932年	第 11 回春陽展	60.6×45.3cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	ペゴニアの花	1978年		60.6×72.7cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	椿	1966年		24.0×33.4cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	赤城山(水押しにて)	1951年		41.0×61.0cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	浪騒ぐ五浦	1973年	第 50 回春陽展	45.6×53.0cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	円亨寺(普陀宗乘廟)	1942年		23.5×32.0cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	シンビジウム	1965年		45.5×38.0cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	上高地			45.4×53.2cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	早春の花	1963年		30.3×24.5cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	埴輪			24.2×33.3cm	ボード、油彩	所属替
横堀角次郎	アルプス遠望	1956年		31.7×41.2cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	山麓の秋	1964年		32.0×41.0cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	椿			15.7×22.7cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	椿	1953年		41.0×32.0cm	カンバス、油彩	所属替
横堀角次郎	秋海棠	1956年		31.0×24.4cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	栗	1965年		28.2×26.2cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	丹頂鶴	1940年		24.5×34.0cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	紅白木瓜	1966年		24.4×33.4cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	百合	1975年		33.6×28.0cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	柿	1974年		37.7×34.6cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	木瓜	1969年		34.5×43.0cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	秋菊	1966年		28.1×27.6cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	薔薇	1960年		36.0×34.0cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	柚子	1940年		31.0×34.1cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	房咲水仙	1959年		26.1×35.0cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	蘭	1960年		32.0×59.5cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	サルビア			26.3×35.1cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	アサガオ			27.5×33.5cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	チューリップ	1970年		50.5×55.0cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	花田二点貼			各 26.5×17.7cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	石榴図			24.3×33.3cm	紙本墨彩	所属替
横堀角次郎	赤城山の風景(仮題)			24.5×45.3cm	カンバス、油彩	所属替

(3) 収蔵作品貸出実績一覧

作者名	作品名	展覧会名／会場	会期
中村節也	尾瀬の花	前橋テルサ	2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)
中村節也	アルハンブラ宮殿(スペイン)	前橋テルサ	2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)
深谷徹	赤城山夏	前橋テルサ	2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)
小室翠雲	妙義山水図	まえばし和の文化の集い／臨江閣別館・前橋	2017年8月18日(金)～2017年8月19日(土)
小室翠雲	赤城山水図	まえばし和の文化の集い／臨江閣別館・前橋	2017年8月18日(金)～2017年8月20日(日)
小室翠雲	妙義山水図	臨江閣別館・前橋	2017年7月12日(水)～2017年7月13日(木)
石内都	絹の夢#021 解し緋銘仙 桐生	石内都 肌理と写真／横浜美術館	2017年12月9日(土)～2018年3月4日(日)
石内都	絹の夢#035 繭 秩父	石内都 肌理と写真／横浜美術館	2017年12月9日(土)～2018年3月4日(日)
石内都	絹の夢#050 併用緋銘仙 桐生	石内都 肌理と写真／横浜美術館	2017年12月9日(土)～2018年3月4日(日)
石内都	絹の夢#078 碓氷製糸 安中	石内都 肌理と写真／横浜美術館	2017年12月9日(土)～2018年3月4日(日)
石内都	絹の夢#101 後藤織物 桐生	石内都 肌理と写真／横浜美術館	2017年12月9日(土)～2018年3月4日(日)

(4) 修復

作者名	作品名	材質・技法	修復者	修復内容	期間
オフ・ニブロー	いつもの時間	コンピュータ出力映像	作者(高橋啓祐)	元データの調整	2017年4月2日(日)～2017年4月5日(水)
金子英彦	青いダンプカー	カンバス、グアッシュ	有限会社修復研究所21	調査記録、洗浄、変形修正、破損部接着、耳補強、充填整形、補彩、防カビ・殺菌、ワニス塗布、木枠	2017年11月2日(木)～2018年1月23日(火)
清水刀根	舗道	カンバス、油彩	有限会社修復研究所21	調査記録、浮き上がり接着、洗浄、変形修正、耳補強、重鎮整形、補彩、ワニス塗布、木枠、額縁	2017年12月21日(木)～2018年3月28日(水)
清水刀根	牛と子供	カンバス、油彩	有限会社修復研究所21	調査記録、浮き上がり接着、洗浄、変形修正、重鎮整形、補彩	2017年12月21日(木)～2018年3月28日(水)
田村清男	池凍る	紙、水彩	有限会社修復研究所21	調査記録、変形修正、耳付け、パネル装、額縁調整	2017年12月1日(金)～2018年3月28日(水)
塩原友子	曼荼羅	紙、岩彩、銀箔	有限会社修復研究所21	調査記録、浮き上がり接着・固定強化、重鎮整形、補彩	2017年12月1日(金)～2018年3月28日(水)
塩原友子	梵字の花	紙、岩彩	有限会社修復研究所21	記録調査、浮き上がり接着・固定強化	2017年12月1日(金)～2018年3月28日(水)

V-2 図書資料

(1) 平成29年度 収蔵図書

区分	冊数
図書	1,707
展覧会カタログ	3,097
逐次刊行物	3,203
映像資料	17
合計	8,024

VI 運 営

VI-1 アーツ前橋条例

アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

平成25年6月25日

条例第35号

(設置)

第1条 美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置する。

(名称及び位置)

第2条 アーツ前橋の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 アーツ前橋
- (2) 位置 前橋市千代田町五丁目1番16号

(事業)

第3条 アーツ前橋は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 芸術文化に関する作品その他芸術文化に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び閲覧に関すること。
- (2) 作品等の利用に関し、必要な助言及び指導を行うこと。
- (3) 作品等に関する調査、研究及び情報交換を行うこと。
- (4) 多様な芸術に関する展覧会、講演会、公演、研究会等を行うこと。
- (5) 芸術に関する案内書、解説書、年報、調査報告書等を作成し、及び頒布を行うこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、アーツ前橋の設置の目的を達成するために必要なこと。

(企画等を行う組織)

第4条 アーツ前橋に市民参画により芸術文化事業の企画、運営及び評価を行うための組織を置く。

2 前項の組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(職員)

第5条 アーツ前橋に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(観覧料)

第6条 アーツ前橋に展示されている作品等を観覧しようとする者（第8条において「観覧者」という。）は、観覧の際、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第7条 学術研究等のため、アーツ前橋に展示され、又は所蔵されている作品等を閲覧、撮影、模写、模造等（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、アーツ前橋の管理上必要があると認めるときは、前項の規定による特別利用の許可に際し、条件を付することができる。

(利用等の制限)

第8条 市長は、観覧者又は特別利用をする者（以下「利用者等」という。）が、次の各号のいずれ

かに該当するときは、アーツ前橋の観覧若しくは特別利用を中止させ、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
 - (2) アーツ前橋の施設、附属設備（第11条において「施設等」という。）又は作品等を汚損、破損又は亡失するおそれがあると認められるとき。
 - (3) その他管理上の支障があると認められるとき。
- 2 市長は、入館者（利用者等を除く。）が前項各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（観覧料の不還付）

第9条 納付した観覧料は、還付しない。ただし、利用者等の責めに帰することができない理由により観覧することができなくなったときは、この限りでない。

（観覧料の減免）

第10条 市長は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）

第11条 利用者等は、作品等や施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することができないときは、市長の認定する額を賠償しなければならない。

（委任）

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、市規則で定める。

附則

- 1 この条例は、平成25年7月1日から施行する。
- 2 アーツ前橋の観覧料は、第6条の規定にかかわらず、平成25年10月25日までの間は、無料とする。

別表（第6条関係）

区 分		観覧料（1人1回につき）	
		個 人	団 体
常設の展示を行っている場合	一般・大学生	100円	80円
	小学生・中学生・高校生	無料	
特別の企画による展示を行っている場合		1,500円以内で市長が定める額	

摘要

- 1 「一般・大学生」とは、「小学生・中学生・高校生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「小学生・中学生・高校生」とは、19歳未満の者のうち、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校若しくは特別支援学校に在学する児童若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 4 団体とは、10人以上の者をいう。

VI-2 アーツ前橋運営評議会

(1) 委員（平成30年3月31日現在）

	氏名（五十音順）	所属	
委員	片倉 正彦	旧・前橋文化推進会議委員	
委員長	小島 秀薫	前橋・高崎文化連携事業委員会副委員長	
委員	佐々木 吉晴	いわき市立美術館／宇都宮美術館館長	2018年3月28日～
委員	瀬谷 ルミ子	国際協力NGO理事長	
副委員長	友岡 邦之	高崎経済大学地域政策学部教授	
委員	長谷川 秀子	旧・粕川地区地域づくり協議会食部会部会長	
委員	間々田 博	前橋市立芳賀小学校教頭	2017年6月16日～
委員	黛 若葉	NPO法人まえばし農学舎事務局長	2018年3月28日～
委員	水沢 勉	神奈川県立近代美術館館長	
委員	結城 恵	群馬大学教育基盤センター教授	

(2) 開催記録

- 第16回 6月16日（金）14:30～17:00 前橋市中央公民館 504学習室
- ・委員の継続・変更、委員長副委員長の互選
 - ・事業の実施結果及び進捗状況について
 - ・平成28年度決算見込み
 - ・事業評価
- 第17回 9月29日（金）14:00～16:15 前橋市中央公民館 504学習室
- ・事業の実施結果について
 - ・事業の進捗状況について
 - ・事業評価
 - ・平成30年度事業について
- 第18回 12月18日（月）14:40～17:00 前橋市中央公民館 504学習室
- ・事業の実施結果について
 - ・事業の進捗状況について
 - ・開館4年目の振り返りと5年目に向けて
 - ・委員懇談会
- 第19回 3月28日（水）14:30～17:00 前橋市中央公民館 506学習室
- ・事業の実施結果について
 - ・事業の進捗状況について
 - ・前橋市収蔵美術専門委員会の結果
 - ・次年度の事業計画、評議会年間予定

(3) 設置要綱

（設置）

第1条 アーツ前橋の運営方針や事業計画について意見を聴くため、アーツ前橋運営評議会（以下「評議会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 評議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 評議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総括し、評議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 評議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 評議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 評議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第6条 評議会は、必要があると認めたときは、評議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 評議会の庶務は、アーツ前橋において行う。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成25年7月1日から施行する。

この要綱は、平成27年6月16日から施行する。

VI-3 アーツ前橋収蔵美術品専門委員会

(1) 委員

氏 名	所 属 (順不同)
染谷 滋	元富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館館長
野地 耕一郎	泉屋博古館分館長
武居 利史	府中市美術館教育普及担当主査
大越 久子	埼玉県立近代美術館主席学芸主幹

(2) 開催記録

日程	時間	場所
1月26日 (金)	13:00~17:00	アーツ前橋2階会議室ほか

(3) 設置要綱

(設置)

第1条 前橋市の所蔵美術品等（以下「美術品」という。）を適正に取得・収蔵するため、前橋市収蔵美術品専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 専門委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 美術品の評価に関する事。
- (2) 美術品の選定に関する事。
- (3) その他美術に係る専門的事項に関する事。

(組織及び委員)

第3条 専門委員会は、4人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、美術に関する専門的知識を有する者とし、市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 市長は、必要があるときは専門的分野の案件に関して審議するため、臨時委員を委嘱することができる。

(委員長)

第4条 専門委員会に委員長を置く。

2 委員長は、会務を総理し、審議の結果を市長に報告する。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

(部会)

第6条 委員会に、必要に応じて部会を置くことができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 専門委員会の庶務は、前橋市文化スポーツ観光部文化国際課アーツ前橋において行う。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、専門委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が専門委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

VI-4 来館者数統計

アーツ前橋総来館者数【(A) + (B)】	83,121
-----------------------	--------

2017年度月別来館者数

年月	来館者数 (A)					館外イベント 参加者数 (B)	開館日数		
	展覧会観覧者数 (C) + (D)						展覧会開催日数		
	展示室 (C)			展示室外 イベント (D)					
	(内) 有料展示室				有料展覧会				
2017年 4月	5,658	1,466	1,437	(1,137)	29	87	26	26	26
5月	5,530	1,866	1,808	(1,401)	58	123	27	27	27
6月	4,457	602	602	(0)	0	203	26	14	0
7月	8,126	1,651	1,651	(368)	0	75	27	27	10
8月	5,467	1,766	1,702	(1,176)	64	25	26	26	26
9月	4,562	1,336	1,292	(916)	44	111	26	23	23
10月	5,863	1,115	957	(762)	158	73	27	12	12
11月	6,998	3,538	1,705	(1,050)	1,833	12,376	25	25	25
12月	4,470	1,476	1,255	(881)	221	10	23	23	23
2018年 1月	5,465	1,553	1,463	(1,200)	90	94	23	11	11
2月	6,430	2,419	2,419	(1,791)	0	100	24	23	12
3月	6,703	1,236	1,230	(731)	6	115	27	17	13
合 計	69,729	20,024	17,521	(11,413)	2,503	13,392	307	254	208

展覧会別観覧者数

展覧会名	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)		
			展示室	展示室外イベント	合計
コレクション展 新収蔵作品を中心に	2017年6月15日 (木) ~ 9月26日 (火)	90	5,247	0	5,247
コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ	2017年7月21日 (金) ~ 9月26日 (火)	59	2,460	16	2,476
ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	2017年10月20日 (金) ~ 2018年 1月16日 (火)	70	5,380	2,394	7,774
彼女たちのまなざし アーツ前橋所蔵作品から	2018年 2月 2日 (金) ~ 2018年 3月 4日 (日)	27	2,606	0	2,606
身体拡張2018 公園デビュー	2018年 2月 2日 (金) ~ 2月18日 (日)	12	1,791	0	1,791
横堀角次郎と仲間たち 草土社の細密画から郷里赤城山の風景まで	2018年3月17日 (金) ~ 5月29日 (火)	64	3,550	99	3,649
Art Meets 05 菊池敏正/馬場恵	2018年3月17日 (金) ~ 5月29日 (火)	64	4,731	39	4,770
合 計			25,765	2,548	28,313

VI-5 刊行物

□&Arts アンドアーツ

- 第10号 2017年6月発行
A2判 変形折り（仕上がりA5判縦） 3,400部
第11号 2017年9月発行
A2判 変形折り（仕上がりA5判縦） 3,400部
第12号 2017年11月発行
A1判 変形折り（仕上がりA4判縦） 3,400部
第13号 2018年3月発行
A2判 変形折り（仕上がりA5判縦） 3,400部

□アーツ前橋 年報No.04 2016年度（平成28年度）

A4判、75頁、550部

□アーツ前橋 平成29年度 研究紀要

A4判、55頁、1,000部

□年間スケジュール

21×10cm、20,000部



VI-6 関連記事一覧

（1）新聞

発行日	記事名	掲載紙	ページ	関連事業名
2017. 4. 5	箸もブラシもアートに変身 前橋 立体作品や設計図 210 点	読売新聞	30	加藤アキラ展
2017. 4. 8	【アートの地平から】 インド思想と抽象表現	毎日新聞	14	アーツ前橋全般
2017. 4. 19	評美術 加藤アキラ 孤高のプリコルルール	毎日新聞	5	加藤アキラ展
2017. 4. 21	田中沢さん 作品展で踊り	読売新聞	32	加藤アキラ展
2017. 5. 25	サポーター募集のお知らせ	上毛新聞	15	ラーニング
2017. 6. 7	鑑賞ナビゲーター募集	上毛新聞	19	ラーニング
2017. 6. 10	【アートの地平から】 常設展示の可能性	毎日新聞	14	アーツ前橋全般
2017. 6. 21	アーツ前橋 来館最多	上毛新聞	20	アーツ前橋全般
2017. 6. 26	食やアートで商店街活性化 前橋でフェス	上毛新聞	19	めぶくフェス
2017. 6. 27	12 作家の絵画、写真、彫刻 前橋	上毛新聞	17	コレクション展
2017. 7. 21	来場者が作品に	上毛新聞	23	コレクション+ アートの秘密 展
2017. 7. 21	「絹産業と水」映像や造形に	朝日新聞	25	地域AP(滞在制作事業)
2017. 7. 28	鑑賞心得 タブレットで アーツ前橋	上毛新聞	20	ラーニング
2017. 7. 30	美術の「ツボ」アプリで	読売新聞	29	ラーニング
2017. 8. 12	【アートの地平から】鑑賞者の秘密	毎日新聞	12	アーツ前橋全般
2017. 8. 18	アーツ前橋で9月26日まで展示&イベントで鑑賞をサポート	朝日ぐんま	3	コレクション+ アートの秘密 展
2017. 8. 18	【遊ナビ：美術／東京】コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ	毎日新聞	21	コレクション+ アートの秘密 展
2017. 8. 19	脱ひきこもり アートで支援	朝日新聞	26	地域AP(表現の森継続事業)
2017. 8. 25	アーツ前橋 夏の展覧会「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」	ちいきしんぶん	2	コレクション+ アートの秘密 展
2017. 9. 5	展示分かりやすく 博物館 美術館 アプリ導入拡大	上毛新聞	9	ラーニング
2017. 9. 7	タブレット置き鑑賞のコツ紹介	毎日新聞	22	ラーニング
2017. 9. 7	自分と出会う場に 5 部構成で収蔵品展	上毛新聞	17	コレクション+ アートの秘密 展
2017. 9. 8	美術探訪 「アートの秘密」 アーツ前橋で9月26日まで	朝日ぐんま	3	コレクション+ アートの秘密 展
2017. 9. 10	中之条ピエンナーレ開幕 若手に貴重な発表の場	上毛新聞	4	アーツ前橋全般
2017. 9. 17	【週刊風つ子】気軽に楽しもう 感じ方、人それぞれ	上毛新聞	3	アーツ前橋全般
2017. 9. 18	文学と美術から「ことば」を考える アーツ前橋・前橋文学館	教育家庭新聞	8	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 9. 19	語り合い広がる発想 アーツ前橋でイベント 前橋	上毛新聞	16	ラーニング
2017. 9. 20	県ゆかりの作家 作品展 前橋	読売新聞	33	コレクション展
2017.10. 1	オノマトペ作品で表現 絵本作家・荒井さん指導	上毛新聞	20	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017.10.14	言葉テーマに共同展 前橋文学館アーツ前橋	上毛新聞	18	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017.10.14	【アートの地平から】「周縁」の豊かな可能性	毎日新聞	20	アーツ前橋全般

発行日	記事名	掲載紙	ページ	関連事業名
2017. 10. 20	「言葉」テーマに詩や絵画 160 点 きょうから共同展	上毛新聞	23	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 31	言葉の世界 五感で表現 オノマトペや詩に色、形 前橋文学観とアーツ前橋初の共同企画展	上毛新聞	6	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 4	「原発」への無力・喪失感訴え アーツ前橋 文学館 初の共同企画展	東京新聞	18	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 7	芸術家×美術部、中学舞台に共作 前橋、美術館派遣事業	朝日新聞	29	ラーニング
2017. 11. 7	机や椅子アートに 六中で住中さん 前橋	上毛新聞	20	ラーニング
2017. 11. 14	「言葉」テーマに意見交換 前橋文学館とアーツ前橋 共同企画展でイベント	上毛新聞	9	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 19	「言葉」の力見つめ直す 前橋 山川さんら独自の世界観	朝日新聞	29	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 2	言葉 美術と文学で迫る	読売新聞	11	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 5	ことばの姿 見る、感じる	朝日新聞	4	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 9	【アートの地平から】科学と芸術の間	毎日新聞	10	アーツ前橋全般
2017. 12. 18	水と緑と詩のまち前橋～特色ある文化教育施設～	日本教育新聞	4	アーツ前橋全般
2017. 12. 19	絵と言葉美の共存	東京新聞	5	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 21	3氏が選ぶ展覧会ベスト4	読売新聞	19	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 25	親子で人形劇楽しむ 絵本作家 荒井良二さん企画	朝日新聞	13	ヒツクリコ ガツクリコ展
2018. 1. 1	《福沢一郎 生誕 120 年》語る ◎新しい物を次々に吸収 アーツ前橋学芸員 五十嵐純さん	上毛新聞	23	アーツ前橋全般
2018. 2. 3	『公園』で探る表現 ジャンルを超えた 50 組	産経新聞	22	公園デビュー
2018. 2. 9	詩の朗読や演劇 アーツ前橋で 50 組が日替わり披露	上毛新聞	16	公園デビュー
2018. 2. 9	地域繚乱 vol.81 学校のアート教育にアートの多様性を繋げる試み	朝日ぐんま	2	地域AP(表現の森継続事業)
2018. 1. 20	身体表現に焦点 前橋でイベント 来月 2～18 日	読売新聞	30	公園デビュー
2018. 2. 10	【アートの地平から】作品と響きあう空間	毎日新聞	22	アーツ前橋全般
2018. 2. 16	【おでかけ情報】2/24(土) あーつひろば 紙とのリノリワールド	ちいしんぶん	3	ラーニング
2018. 2. 26	女性テーマに企画展 アーツ前橋油絵や立体作品 16 点	読売新聞	31	彼女たちのまなざし展
2018. 3. 2	洋画、日本画、立体…女性像&群馬ゆかりの女性作家の作品 16 点 アーツ前橋で 4 日まで	朝日ぐんま	8	彼女たちのまなざし展
2018. 3. 9	東日本大震災 7 年：「3.11 後の福島」を発信 和合さんの詩、朗読会 前橋文学館で 11 日	毎日新聞	26	公園デビュー
2018. 3. 16	アーツ前橋で横堀角次郎展	桐生タイムス	14	横堀角次郎展
2018. 3. 16	お年寄り向け対話型鑑賞会 21 日、アーツ前橋	上毛新聞	16	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎 絵の世界 アーツ前橋で回顧展	上毛新聞	21	横堀角次郎展
2018. 3. 18	きょう「ダンスカンパニー」公演 公開稽古で即興表現	上毛新聞	18	横堀角次郎展
2018. 3. 19	横堀角次郎の没後 40 年記念展 出身地の前橋で	朝日新聞	31	横堀角次郎展
2018. 3. 22	「アートリッパ」対話し脳活性化	上毛新聞	21	横堀角次郎展
2018. 3. 28	自由な発想で旅支度	上毛新聞	20	地域AP(表現の森継続事業)
2018. 4. 13	【遊ナビ：美術／東京】横堀角次郎と仲間たち	毎日新聞	23	横堀角次郎展

(2) 雑誌

発行日	記事名	掲載紙	ページ	関連事業名
2017. 4. 1	加藤アキラ 孤高のプリコルール	美連協ニュース 2017年5月号N0134	32	加藤アキラ展
2017. 4. 1	Art Meets04 田嶋浩一／三宅砂織	美連協ニュース 2017年5月号N0134	32	Art Meets04
2017. 4. 25	加藤アキラ 孤高のプリコルール	月刊raifu 2017.5月号 Vol.138	56	加藤アキラ展
2017. 5. 25	コレクション展 新収蔵作品を中心に	月刊raifu 2017.6月号 Vol.139	56	コレクション展
2017. 6. 1	表現のジャンルを超えて新たな魅力に出会う アーツ前橋新収蔵作品を中心に	商工まえばし 6月号	16	コレクション展
2017. 6. 25	コレクション展 新収蔵作品を中心に	月刊raifu 2017.7月号 Vol.140	56	コレクション展
2017. 6. 25	「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」	月刊raifu 2017.7月号 Vol.140	56	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 25	コレクション展 新収蔵作品を中心に	月刊raifu 2017.8月号 Vol.141	56	コレクション展
2017. 7. 25	「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」	月刊raifu 2017.8月号 Vol.141	56	コレクション+ アートの秘密
2017. 8. 1	「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」	美連協ニュース 2017年8月号N0135	33	コレクション+ アートの秘密
2017. 8. 1	「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」	商工まえばし 8月号	19	コレクション+ アートの秘密
2017. 8. 25	コレクション展 新収蔵作品を中心に	月刊raifu 2017.9月号 Vol.142	56	コレクション展
2017. 8. 25	「コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ」	月刊raifu 2017.9月号 Vol.142	56	コレクション+ アートの秘密
2017. 9. 6	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	フリーマガジン ARTIFE VOL. 5	39	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 9. 20	芸術の秋にお勧め!美術館特集	FLAP	39	アーツ前橋全般
2017. 9. 25	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	月刊raifu 2017.10月号 Vol.143	56	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 1	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	月刊ギャラリー 2017vol.10	57	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 15	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	美連協ニュース 2017年11月号N0136	33	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ことばを通して世界を眺める 「ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」	リンネル2017.10.20号	159	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 25	アーツ前橋×前橋文学館共同企画展「ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」	地域創造レター 271号	7	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 25	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	月刊raifu 2017.11月号 Vol.144	56	ヒツクリコ ガツクリコ展

発行日	記事名	掲載紙	ページ	関連事業名
2017. 11. 1	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	美術手帖 2017.11月号(ART NAVI)	6	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 1	アーツ前橋×前橋文学館 共同企画展 街なか回遊プロジェクト	商工まえばし11月号	16	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 7	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	おとなのおしゃれ手帳	142	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 15	未来派から若手詩人まで、人間と言葉の関係を考察。「ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」	pen	148	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 25	無数のことば響きあう、美術館と文学館のコラボ	芸術新潮12月号	175	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 25	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	月刊raifu 2017.12月号 Vol.145	56	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 1	文学と美術における「言葉」の表現を考える	ブレーン	16	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 1	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	美術手帳2017.11月号(ART NAVI)	12	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 25	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	月刊raifu 2018.1月号 Vol.146	56	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 12. 25	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	Quick Japan	191	ヒツクリコ ガツクリコ展
2018. 3. 1	一筆一筆に自然の息吹を込めた画家の回顧展	商工まえばし3月号	16	横堀角次郎展
2018. 3. 1	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所(TOLTAインタビュー)	美術手帳2018.3月号	29	ヒツクリコ ガツクリコ展
2018. 3. 1	新旧が交じり合う県の中心地	ことりっふ	*	アーツ前橋全般
2018. 3. 15	書巻の気 ひときわ魅せられる大澤雅休、竹胎の擬音語書	書道界	43	ヒツクリコ ガツクリコ展
2018. 3. 25	横堀角次郎展	Art Collectors'No108 3月号	44	横堀角次郎展
2018. 6. 21	【見なお史 こんな画家がいた!日本近代絵画】 第41回 横堀角次郎 泥土を磨き上げ宝珠になった画家	一枚の繪	121	横堀角次郎展

(3) ウェブ

日付	記事名	掲載サイト名	関連事業名
2017. 4. 1	アーツ前橋で開催中の加藤アキラ展	すいらんぶろぐ	加藤アキラ展
2017. 4. 1	キュレーターズノート 太田市美術館・図書館「平田見久建築展」、「加藤アキラ 孤高のプリコロール展」	artscape	加藤アキラ展
2017. 5. 1	Arts Meets 04 田幡浩一／三宅砂織	美術手帖 2017.5月号(ART NAVI)	Art Meets 04
2017. 5. 1	加藤アキラ 孤高のプリコロール	美術手帖 2017.5月号(ART NAVI)	加藤アキラ展
2017. 6. 15	Web美庵セレクション 国内美術館企画展情報	Web美庵	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	日本旅行	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋で開催される展覧会「コレクション展 新収蔵作品を中心に」に水谷俊博の作品が展示されます。	水谷俊博建築設計事務所	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	朝日新聞デジタル	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	Walker+夏休みお出かけガイド	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	インターネットミュージアム	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	東京アートビート	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	Walker+	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	YAHOO!JAPAN ロコ	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	ミュージアムカフェ	コレクション展
2017. 6. 15	アーツ前橋「コレクション展」	アパホテル イベント情報	コレクション展
2017. 6. 23	～9/26(火)アーツ前橋「コレクション展」開催中【観覧無料】7/21～は「コレクション+展」も	前橋まるごとガイド 前橋日記	コレクション展
2017. 6. 23	8/20(日)アーツ前橋ロビーライブ「電子音楽」◆コレクション+アートの秘密◆開催中!	前橋まるごとガイド 前橋日記	アーツ前橋全般
2017. 7. 21	コレクション+ アートの秘密	美術検定	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+ アートの秘密」	朝日新聞デジタル	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」 アートの秘密	旅楽.jp DOKOIKU	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	「コレクション+ アートの秘密」 私と出会う5つのアプローチ	webDICE	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+ アートの秘密」	インターネットミュージアム	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」 アートの秘密	YAHOO!JAPAN ロコ	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋で鑑賞テーマに企画展「コレクション+ アートの秘密」	マイ広報誌	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」アートの秘密	goo地図	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」 アートの秘密	日本旅行 群馬県のお出かけイベント情報	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」 アートの秘密	Walker+	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」 アートの秘密	東京アートビート	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	「アートの秘密」 私と出会う5つのアプローチ	CINRA.NET	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	「コレクション+ アートの秘密」 私と出会う5つのアプローチ	ネットTAM	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+ アートの秘密」私と出会う5つのアプローチ」展に参加	YASUTAKE SHIMAJI	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋 コレクション+ アートの秘密 私と出会う5つのアプローチ	GA	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」 アートの秘密	BIGLOBE旅行	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	7/21(金)～9/26(火)【アーツ前橋】コレクション+「アートの秘密」開催!	前橋まるごとガイド 前橋日記	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	コレクション+ アートの秘密	いこーよ	コレクション+ アートの秘密
2017. 7. 21	アーツ前橋「コレクション+」 アートの秘密	アパホテル イベント情報	コレクション+ アートの秘密
2017. 9. 15	【キュレーターズノート】小澤剛<<帰ってきたK.T.O>>、「コレクション+ アートの秘密」私と出会う5つのアプローチ	artscape	コレクション+ アートの秘密
2017. 9. 27	萩原朔太郎の故郷で美術館と文学館がコラボ「ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」展	美術手帖web	ヒツクリコ ガツクリコ展

日付	記事名	掲載サイト名	関連事業名
2017. 10. 20	イベント	CINRA.NET	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	artscape	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	インターネットミュージアム	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	webDICE	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	TOKYO ART BEAT	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	ミュージアムカフェ	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	MusCa	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	いこーよ	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	Walker+	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	ぐんラボ	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	JDN	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	Dokka!おでかけ探検隊(関東版)	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	Mercurey	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	イベントまえぼしigoo	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	BIGLOBE旅行	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	ART iT	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	BIGLOBE旅行	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	art commons	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	マイ広報誌	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	日本旅行 群馬県のお出かけイベント情報	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	朝日新聞デジタル	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	YAHOO!JAPAN ロコ	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	goo地図	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 10. 20	ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所	ARTNAVIEX	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 13	AXISフォントユーザーインタビュー アーツ前橋「コンセプトualなオリジナルフォントを生かすサイン計画」	AXIS	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 13	「ヒツクリコ ガツクリコ ことばの生まれる場所」詩や美術を通じて、言葉の力を問い直す	AXIS	ヒツクリコ ガツクリコ展
2017. 11. 23	柴田聡子が見た言葉をめぐる展覧会	CINRA.NET	ヒツクリコ ガツクリコ展
2018. 1. 15	【キュレーターズノート】足利市立美術館「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」、アーツ前橋 +前橋文学館「ヒツクリコ ガツクリコ 言葉の生まれる場所」	artscape	ヒツクリコ ガツクリコ展
2018. 2. 3	彼女たちのまなざし	TOKYO ART BEAT	彼女たちのまなざし展
2018. 2. 3	彼女たちのまなざし	30min.	彼女たちのまなざし展
2018. 2. 3	彼女たちのまなざし	ミュージアムカフェ	彼女たちのまなざし展
2018. 2. 3	彼女たちのまなざし	前橋まるごとガイド 前橋日記	彼女たちのまなざし展
2018. 2. 3	彼女たちのまなざし	ART iT	彼女たちのまなざし展
2018. 2. 3	彼女たちのまなざし	artscape	彼女たちのまなざし展
2018. 3. 17	横堀角次郎展	ARTNAVIEX	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	美術手帳 ARTNAVI	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	インターネットミュージアム	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	tabiraku	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	MusCa	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	マイ広報誌	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	ぐんラボ	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	東京アートビート	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	アートコモンズ	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	webDICE	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	今見られる全国のおすすめ展覧会100	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	いこーよ	横堀角次郎展
2018. 3. 17	横堀角次郎と仲間たち展	ネット	横堀角次郎展
2018. 3. 17	上毛電気鉄道 3/24から「アーツ前橋 横堀角次郎号」を運行	レイルラボ	横堀角次郎展
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	美術手帖Web	Art Meets 05
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	東京アートビート	Art Meets 05
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	ぐんラボ	Art Meets 05
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	中之条ビエンナーレ	Art Meets 05
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	ノート 今週末いける展覧会イベント	Art Meets 05
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	インターネットミュージアム	Art Meets 05
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	東京アートマップ	Art Meets 05
2018. 3. 17	Art Meets 05 菊池 敏正／馬場恵	ネットTAM	Art Meets 05
2018. 3. 26	横堀角次郎と仲間たち展	美術手帖Web	横堀角次郎展
2018. 3. 26	横堀角次郎と仲間たち展	美術手帖Web	横堀角次郎展
2018. 6. 15	【キュレーターズノート】「拝啓、うつり住みまして 中之条移住アーティストの展覧会」／ この半年間のアーツ前橋を振り返って	artscape	アーツ前橋全般

(4) テレビ・ラジオ

区分	日付	番組名	放送局	関連事業名
テレビ	2017. 4. 17	ニュースジャスト6	(株)群馬テレビ	Art Meets 04
テレビ	2017. 7. 31	ニュースeye8	(株)群馬テレビ	コレクション+ アートの秘密
ラジオ	2017. 8. 8	エフエム群馬 ゆうガチャ	(株)エフエム群馬	folks
テレビ	2017. 11. 24	ニュースジャスト6	(株)群馬テレビ	ヒツクリコ ガツクリコ展
ラジオ	2017. 12. 15	ラジオ高崎 AIR PLACE	ラジオ高崎	ヒツクリコ ガツクリコ展
ラジオ	2018. 2. 3	けやきガーデン845	まえばしCITYエフエム	公園デビュー
テレビ	2018. 2. 3	ニュースeye8	(株)群馬テレビ	彼女たちのまなざし展
ラジオ	2018. 2. 6	エフエム群馬 ゆうガチャ	(株)エフエム群馬	公園デビュー
テレビ	2018. 5. 6	日曜美術館 アートシーン	NHKエデュケーショナル	横堀角次郎展

VI-7 職員名簿 (平成29年4月1日から平成30年3月31日)

館長	住友 文彦
副館長	田中 力
課長補佐	新保 正夫
副主幹	佐藤 恵司
主 任	山田 一志
主 任	堺 大輔
主 事	高山あずさ
学芸員	辻 瑞生
学芸員	吉田 成志
学芸員	今井 朋
学芸員	五十嵐 純
学芸員	小田久美子
学芸員	家入 健生 (6月30日まで)
学芸員	忠 あゆみ (7月10日から)
嘱託員	榎本 浩子

アート前橋年報 No.5
2018年11月発行

発行者 アート前橋
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16
TEL 027-230-1144
MAIL artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp
URL <http://artsmaebashi.jp>

フォトクレジット

©KIGURE Shinya p.6、8、11、17、18、24、27下右、28下左・下右、29下左・下右、30下右、32、34、43左、48、52